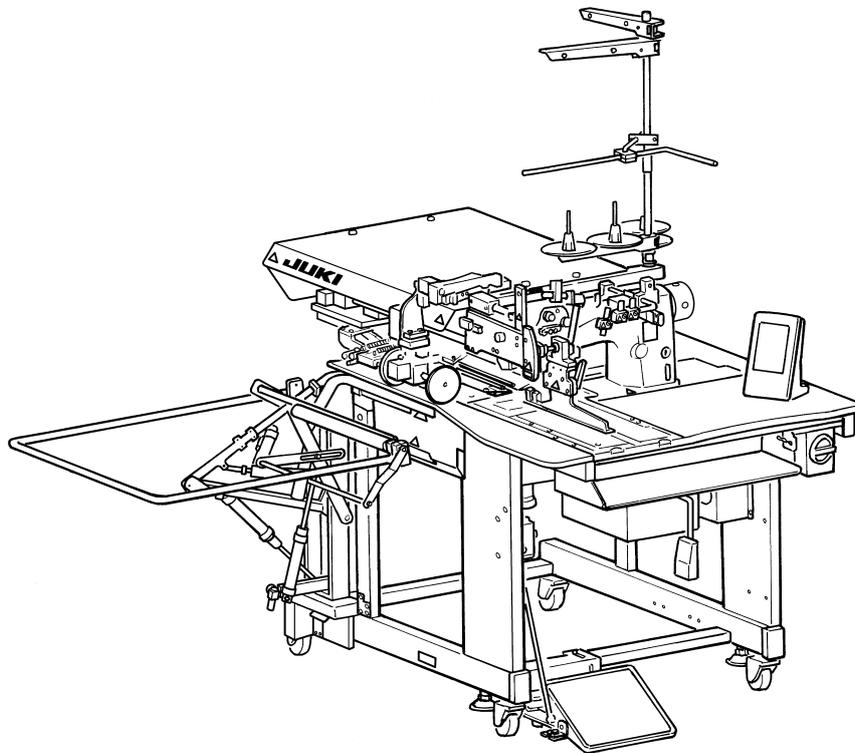


APW-895N/IP-420

基本操作説明書 BASIC OPERATION MANUAL 基本操作说明书



注意：本説明書は、ミシンの準備、操作パネルについて、基本的な縫製を行うための使い方をまとめたものになります。
その他のミシンの取り扱い方法についての詳細は、付属の CD 取扱説明書を参照ください。

NOTE : This manual will be preparation of the sewing machine, about the operation panel, summarizes how to use for performing the basic sewing.
For a detailed description of how to handle sewing machine Other, please refer to the CD instructions provided.

注意：本说明书将缝纫机的准备，对操作面板、总结了如何使用用于执行基本的缝制。
对于如何处理缝纫机其他的详细说明，请参阅相关的 CD 的说明书。

日本語

日本語

*コンパクトフラッシュ (TM) は米国サンディスク社の登録商標です。

目次

I. ミシンの準備	1
1. ミシン頭部の取り扱い	1
(1) 針の取り付け方	1
(2) 使用糸	1
(3) 上糸の通し方	2
2. 縫製テーブルの取り外し方	3
(1) 下糸を交換する時	3
(2) 縫製テーブルを取り外した場合の注意	4
3. 下糸の巻き方	5
4. ボビンケースの糸の通し方	6
5. ボビンケースの取り付け方	6
6. 糸調子の取り方	7
7. 縫製布のセット	8
8. 生地ガイドの調整	8
II. 操作パネルの使用方法	9
1. 操作パネル (IP-420) の基本操作	9
(1) IP-420 の各部の名称	9
(2) 共通で使用されるボタン	10
(3) 基本操作	10

1. ミシンの準備

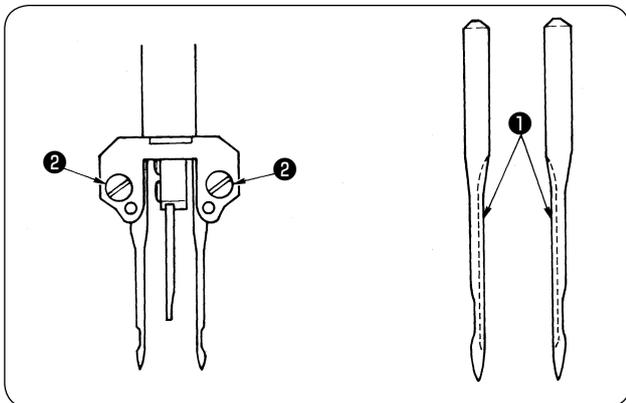
1. ミシン頭部の取り扱い

(1) 針の取り付け方



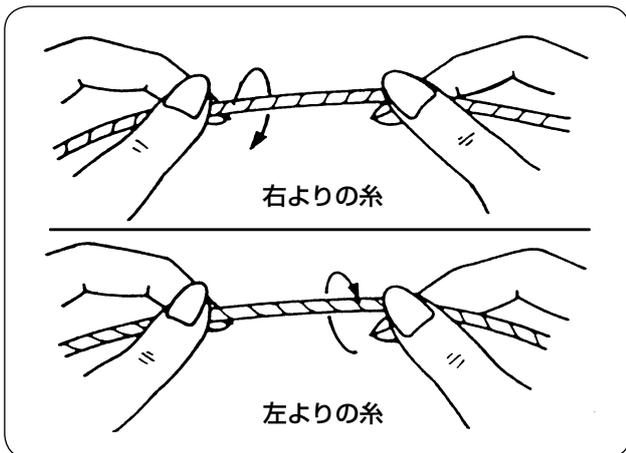
注意

- ・不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。
- ・針交換時、センターメス刃部に指を触れないように注意してください。



使用針はDP×17 #14～18（標準 #16）です。指定の針を使用してください。左右針とも、長溝①が内側に向き合うようにして、針取り付け穴の奥につき当たるまで差し込んで、針止めねじ②で止めてください。

(2) 使用糸



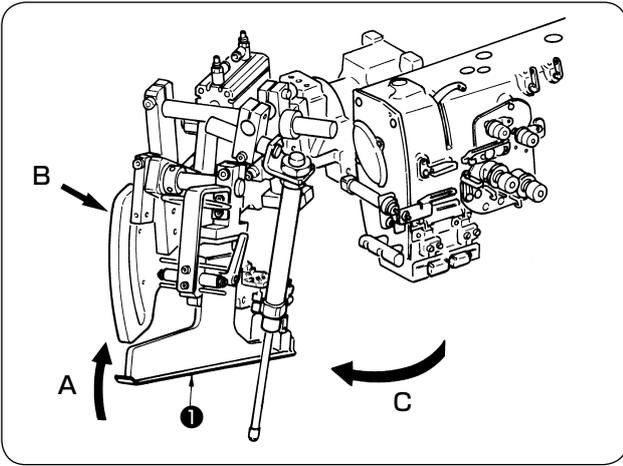
- ・ 上糸は、左よりの糸をご使用ください。
- ・ 下糸は、左より、右よりのいずれでもご使用になれます。



使用する糸は、よりむらのない新しい糸を使用してください。

(3) 上糸の通し方

注意 不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。

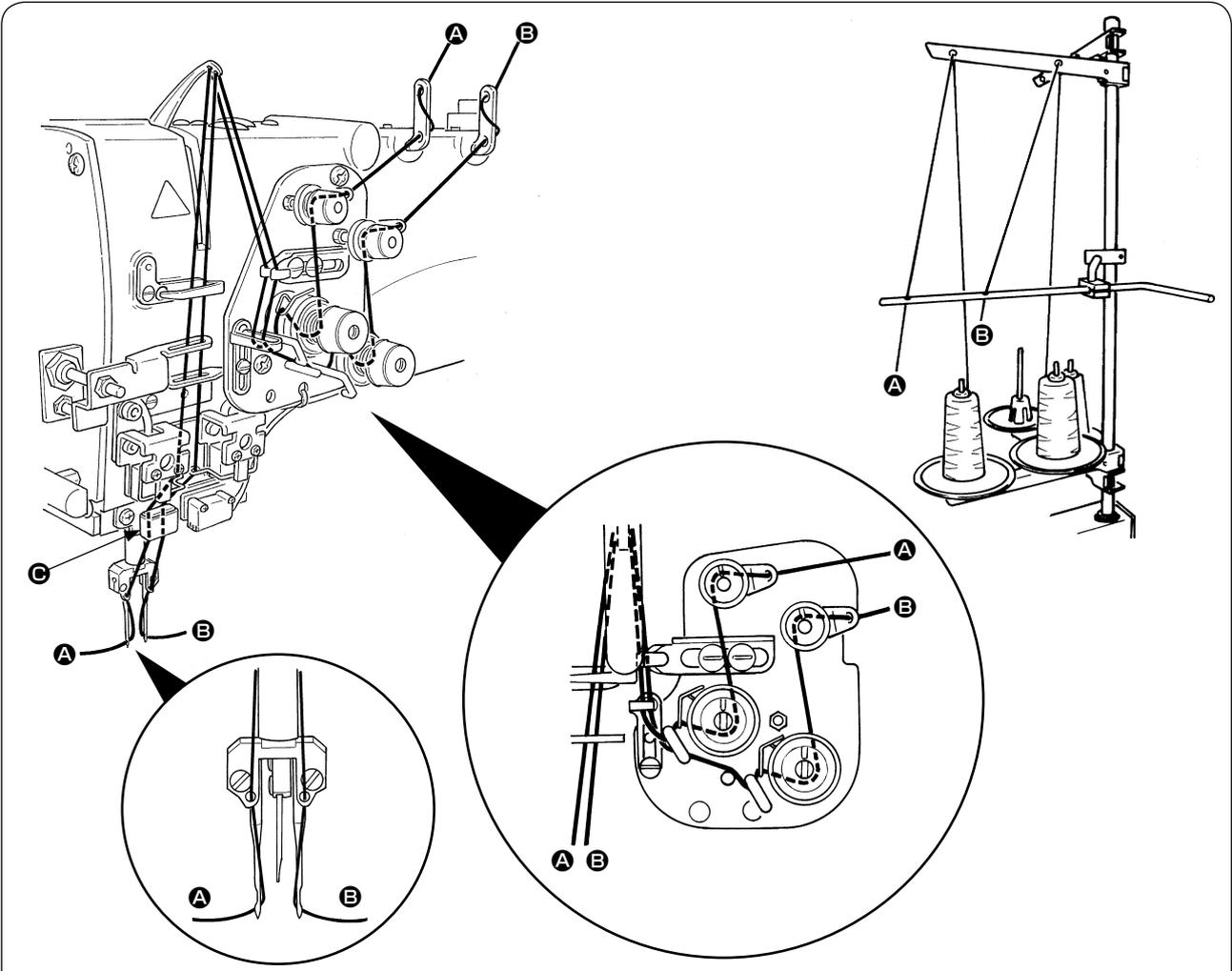


① バインダー①を A 方向に持ち上げてから、B 部を手で支えてバインダー全体を C 方向に回転させてください。

注意 バインダーを押して、C 方向に回転すると、玉幅が狂うことがありますので、必ず B 部を押してください。

参考 バインダーはボールプランジャーでロックされているので、強めに C 方向に回転させてロックを解除します。

② その後は、下図の通り上糸を図の順序に通してください。



注意 糸案内フェルト③を定期的に交換してください。縫製中の糸あばれによる縫い不良を防止することができます。

- 上糸は図の順序に通してください。
- ミシンに向かって左側の針糸 → A
 - ミシンに向かって右側の針糸 → B

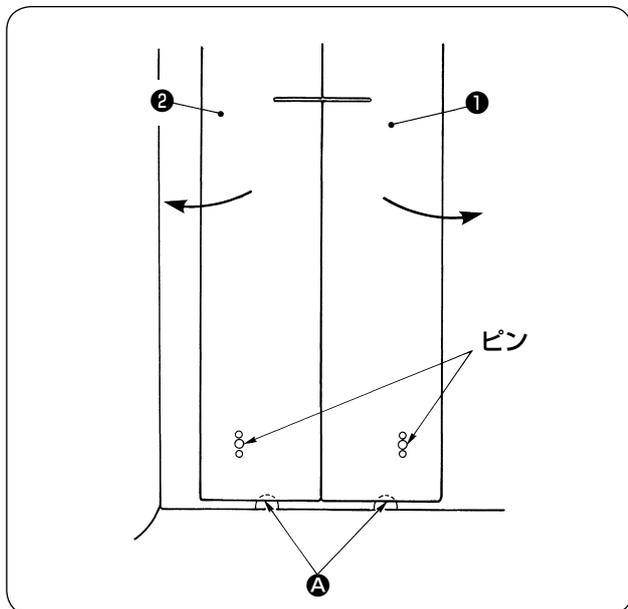
2. 縫製テーブルの取り外し方



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。

(1) 下糸を交換する時



- ① 大押えを後進端に移動させてください。
- ② 左、右縫製テーブル①、②をテーブル側面切欠き A より指で縫製テーブルを上げます。
- ③ その状態で、矢印方向に移動させるとボビンケースが見えます。

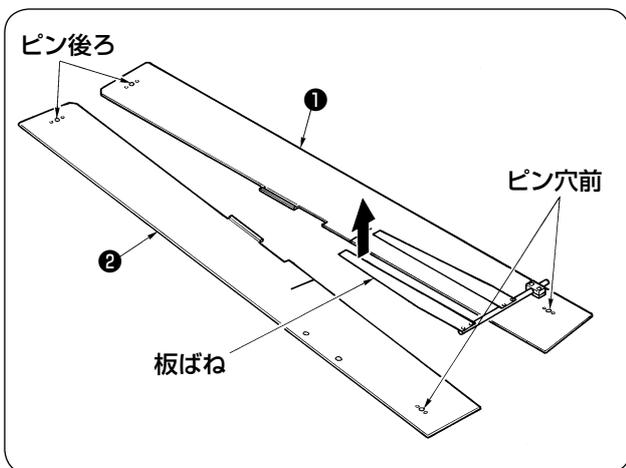
注意 この時、縫製テーブルが針に当たらないように移動させてください。

- ④ 下糸を交換したら、逆の要領で縫製テーブルを針板およびピンに確実にセットしてください。

(2) 縫製テーブルを取り外した場合の注意

 注意	不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。
---	----------------------------------

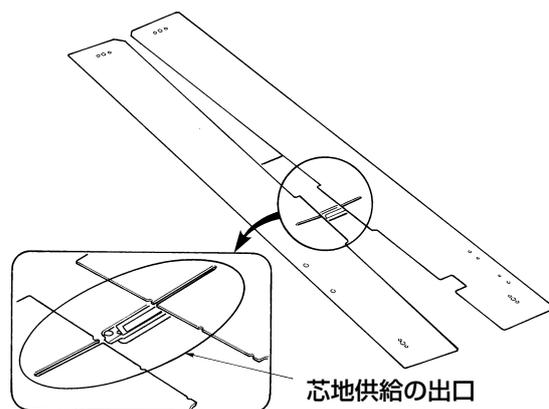
縫製テーブル①、②を外した場合、次の要領で確実にセットしてください。



- ① ピン後ろ (左) (右) をピン穴に確実にセットします。
- ② ピン穴前 (左) (右) をピンに確実にセットします。

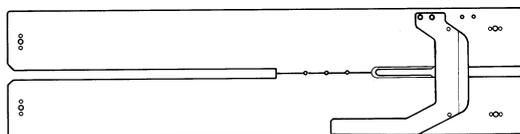


1. SA-120 (芯地自動供給装置) 付きの機械の場合は、板ばね部を曲げてしまわないように上に持ち上げながら縫製テーブル①、②を元に戻してください。

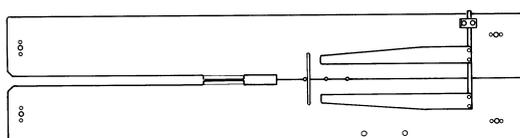


2. 下記の仕様で、縫製テーブル①、②の取り外しを行う場合、袋布押え、および芯地押えを曲げないように注意してください。

① 袋布押え (標準)



② 袋布押え (芯地供給用)

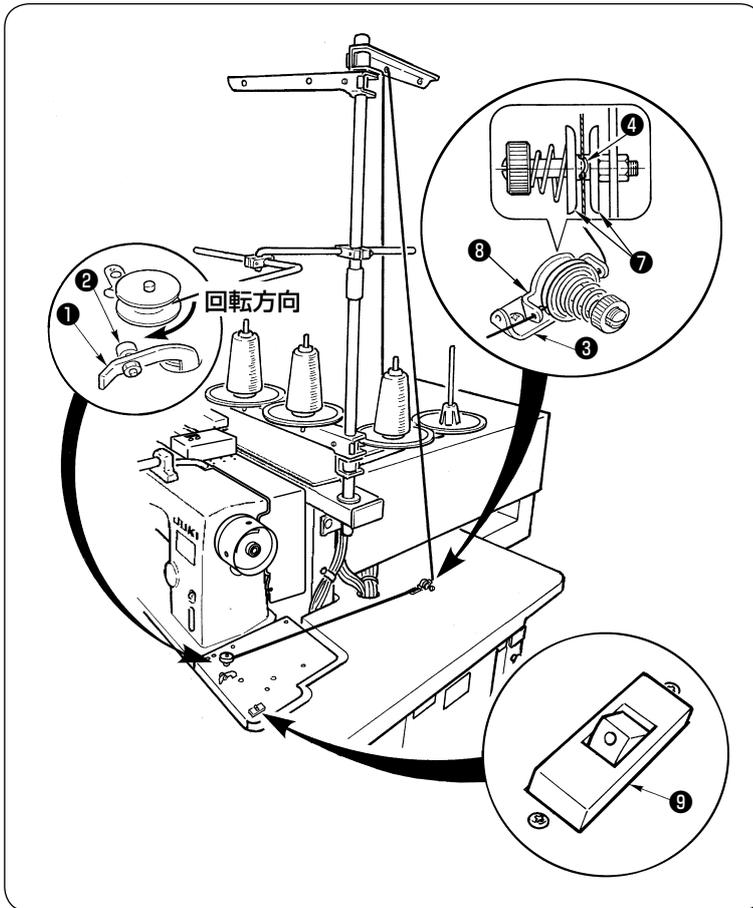


3. 下糸の巻き方

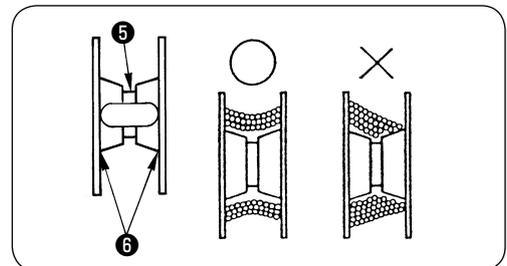


注意

損傷を防ぐため、運転中はポビンに触れないでください。



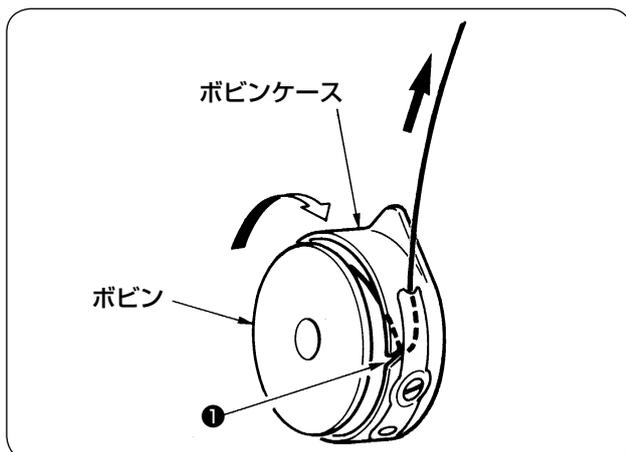
- ① ポビンを糸巻軸の奥まで差し込みます。
- ② 糸案内板⑧に糸を通し、糸調子皿⑦を開いて、糸調子棒④のスリットに入れます。
- ③ 糸を図の順に通しポビンに4～5回巻き付けます。(矢印方向がポビンの回転方向になります。)
- ④ ポビン糸案内①を押しますと、ポビンが回転します。
- ⑤ 所定量巻き終わった後、自動的に停止します。



1. ポビンに糸を巻き始める時は、上図のように溝部⑤から巻き始めてください。⑥から巻き始めた場合は、下糸無し検知が誤動作する場合があります。
2. 下糸の残り量を安定して確保するために、ポビンに糸が均一に巻かれていることが大切です。特に巻き始めの部分にご注意ください。
糸が均一に巻けない場合は、糸調子台③の左右位置を調整してください。
3. 下糸巻き量は、ポビン外径の80%位巻くのが最適です。糸巻量調節ねじ②により巻き量を調節できます。
4. レバー①は糸を巻く時以外は押さないでください。モーターが回転し続け、故障の原因となります。
5. 糸巻きモーターの過負荷等の異常を検知すると、サーマルスイッチ⑨が遮断されます。サーマルスイッチ⑨が遮断された場合は、サーマルスイッチ⑨をOFFにしてから、再びONにすることで復帰できます。



4. ボビンケースの糸の通し方



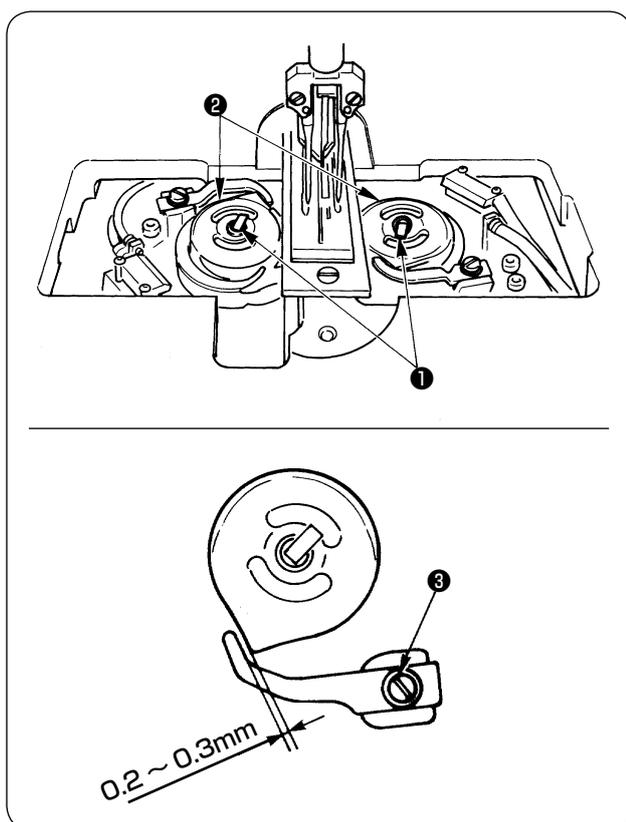
- ① 糸が右巻きになるようにボビンを持ち、ボビンケースに入れます。
- ② 糸をボビンケースの糸通し溝①に入れます。
- ③ そのまま、糸調子ばねの下を通します。

5. ボビンケースの取り付け方



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。

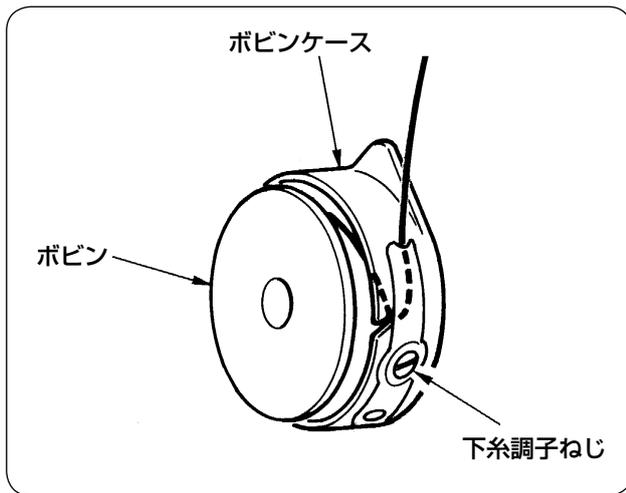


- ① ボビンケースは釜のレバー①を起こして、ボビンと一緒に取り出してください。
- ② 入れる時は、釜の軸に正しく差し込み、レバー①を倒してください。

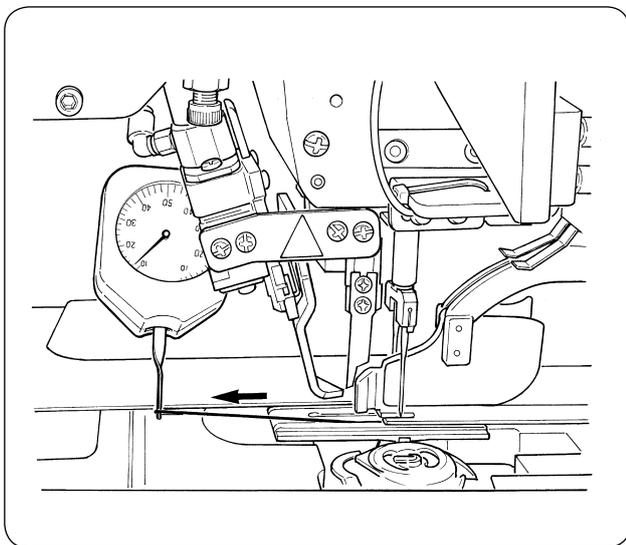


ボビンケース②を左右入れ替えた時は、必ずオープナーの最後退時とボビンケースのすき間量が0.2～0.3mmであることを確認してください。すき間量が0.2～0.3mmではない時は、止めねじ③をゆるめ調整してください。

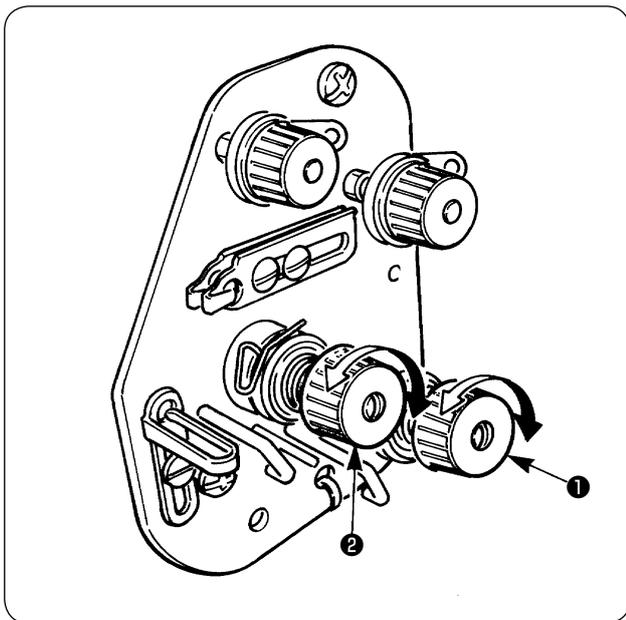
6. 糸調子の取り方



- ① 下糸張力の調整
下糸調子ねじを右に回すと強く、左に回すと弱くなります。

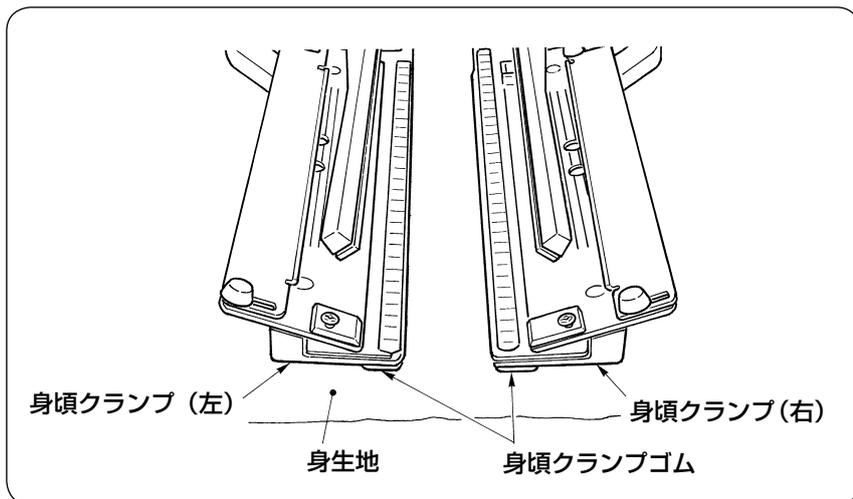


左図のようにテンションゲージを使用した測定方法で、下糸の標準張力は 0.25 ~ 0.35N になります。



- ② 上糸張力の調整
まず右、左の下糸張力を、調整します。
右、左の下糸張力に合わせて、右針糸調子は、糸調子ナット①を、左針糸調子は、糸調子ナット②を調整します。右へ回せば糸張力は強くなり、左へ回せば糸張力は弱くなります。

7. 縫製布のセット



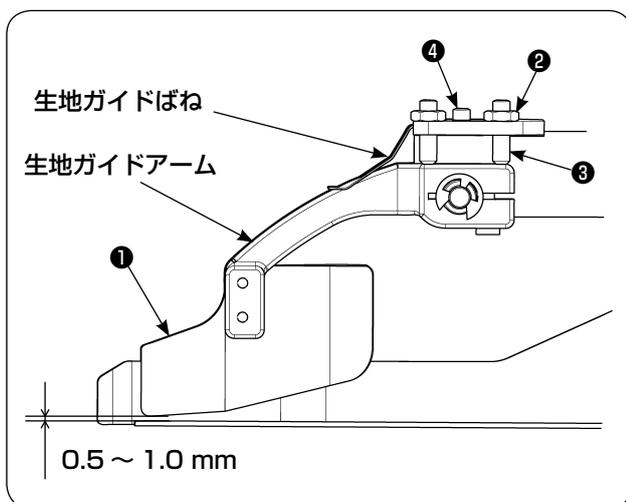
縫製する身生地は、左右の身頃クランプの下に張ってある身頃クランプゴムの大きさより、大きな生地をご使用ください。

身頃クランプより小さな生地で縫うと、ゴムのはがれや故障の原因となります。

小さな生地を縫う場合は、敷板仕様（オプション）を装着してください。

8. 生地ガイドの調整

生地ガイドは、縫製時に玉布をミシン針際で安定させる働きをします。
生地の厚さにより生地ガイド①の高さ、押え圧を調整してください。

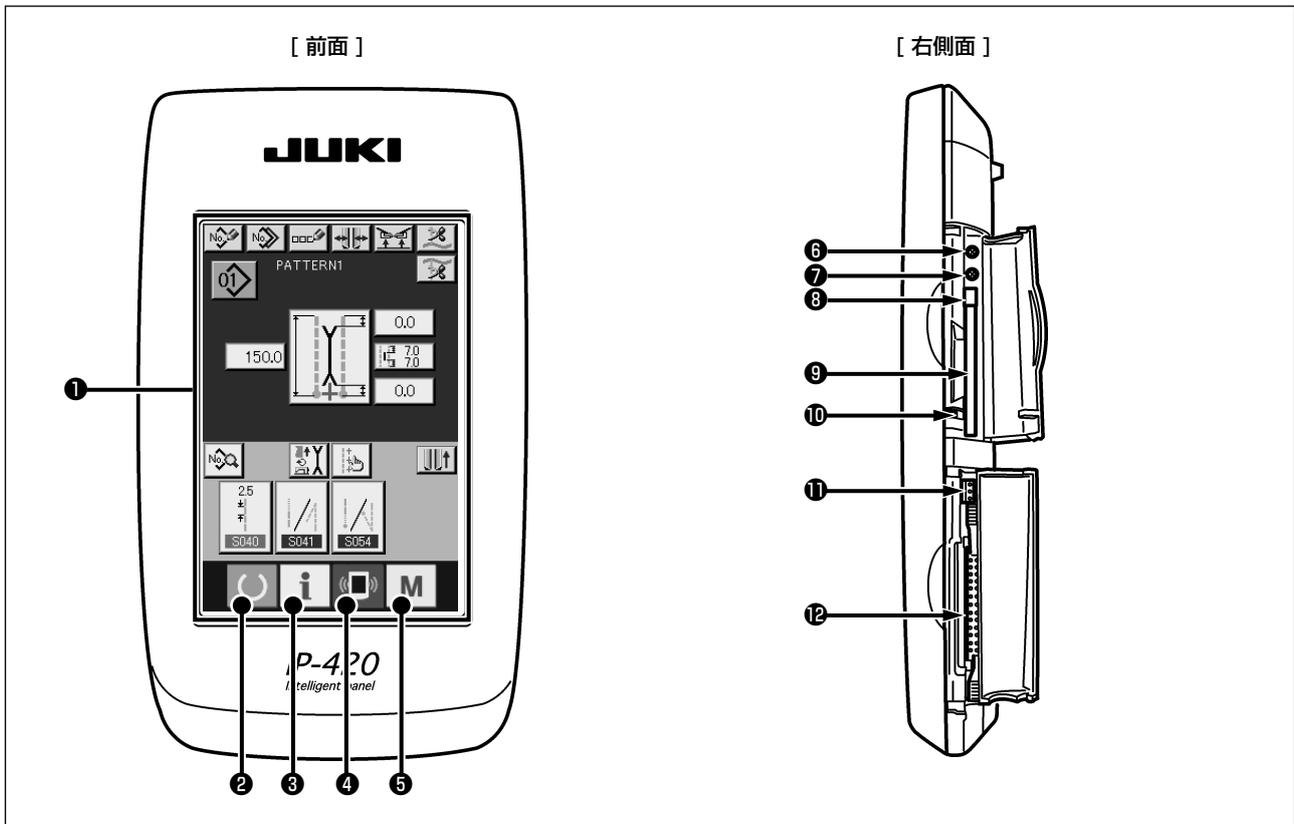


- ① 生地ガイド高さの調整はナットを②ゆるめ、ねじ③により調整できます。
(生地ガイドと玉布定規とのすき間は出荷時 0.5 ~ 1.0mm に調整しております)
- ② 押え圧はばね圧調整ねじ④で調整できます。
(生地通過時に無理な抵抗がない程度に調整してください。)

II. 操作パネルの使用法

1. 操作パネル (IP-420) の基本操作

(1) IP-420 の各部の名称



記号	名称	説明
①	タッチパネル・液晶表示部	
②	 準備完了キー	データ入力画面と縫製画面の切り替えを行います。
③	 インフォメーションキー	データ入力画面とインフォメーション画面の切り替えを行います。
④	 通信キー	データ入力画面と通信画面の切り替えを行います。
⑤	 モード切り替えキー	データ入力画面と各種詳細設定を行うモード切り替え画面の切り替えを行います。
⑥	コントラストボリューム	
⑦	明るさボリューム	
⑧	コンパクトフラッシュ (TM) 取り出しボタン	
⑨	コンパクトフラッシュ (TM) スロット	
⑩	蓋検出スイッチ	
⑪	外部スイッチ入力用コネクタ	
⑫	電装接続用コネクタ	



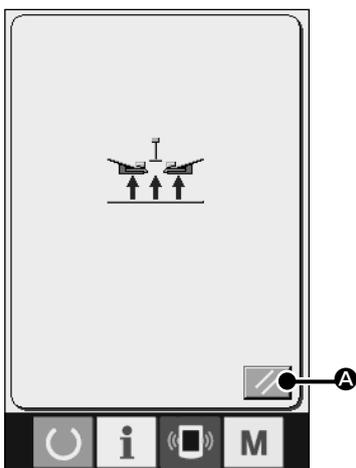
- タッチパネルの操作は画面上を指先で押ししてください。指以外で操作した場合、誤動作や画面表面のガラスにキズや破損が発生する恐れがあります。
- 電源投入後、初めに準備完了キーを押した場合、大押えモーターの原点検索を行います。その際、大押えが動きますので注意してください。

(2) 共通で使用されるボタン

IP-420 の各画面で共通の操作を行うボタンは下記の通りです。

ピクト	名称	説明
	キャンセルボタン	ポップアップ画面を閉じます。 データ変更画面の場合は、変更中のデータをキャンセルします。
	エンターボタン	変更したデータを確定します。
	上スクロールボタン	ボタンもしくは表示を上方向にスクロールします。
	下スクロールボタン	ボタンもしくは表示を下方向にスクロールします。
	リセットボタン	エラーの解除等を行います。
	数字入力ボタン	テンキーが表示され、数字の入力を行うことができます。
	文字入力ボタン	文字入力画面を表示します。

(3) 基本操作



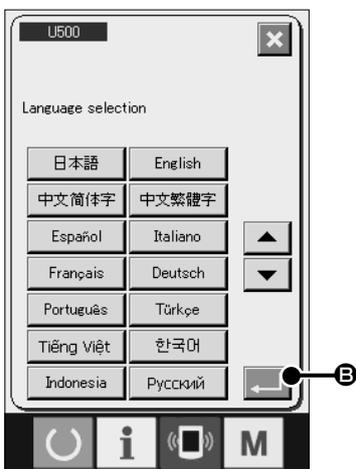
① 電源スイッチを入れる

最初に、電源スイッチを入れてください。

ウェルカム画面表示後に、リセットポップアップ画面が表示されます。リセットボタン  **A** を押します。



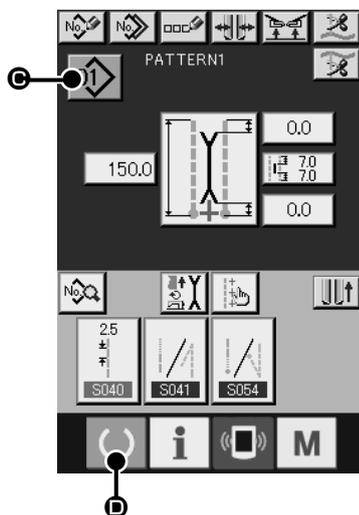
リセットボタンを押すと、バインダーが上がりますので注意してください。



次に言語選択ポップアップ画面が表示されます。表示させたい言語を選択後、エンターボタン  **B** を押すと、下図の単独縫い入力画面（画面 A）が表示されます。



言語選択を行わずにキャンセルボタン  またはエンターボタン  にて選択画面を終了してしまうと、言語選択画面が電源を入れた際に毎回表示されます。



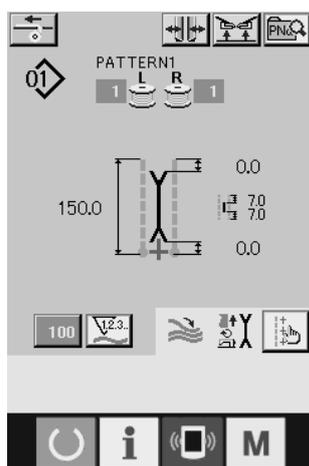
単独縫い入力画面 (画面 A)

② 縫製したいパターン No. を選択する

パターン No. ボタン **01** **Ⓒ** を押すとパターン No. の選択ができます。パターン No. の選択方法は、APW-895N 取扱説明書 "VI-7. (1) パターンの選択を行うには" p.42 を参照してください。

ご購入時は、パターン No.1 ~ 10 が登録されていますので、縫製仕様に合わせて、縫製データを変更してご使用ください。(パターンが登録されていない番号は表示されません。)

参考 入力画面の詳細説明については、APW-895N 取扱説明書 "VI-3. 基本画面の説明" p.28 を参照してください。

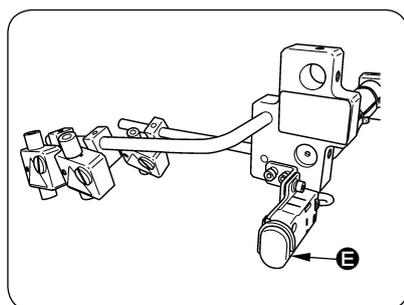


縫製画面 (画面 B)

③ 縫製を開始する

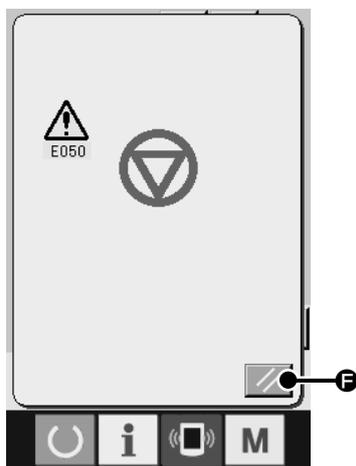
単独縫い入力画面 (画面 A) で準備完了キー **Ⓓ** を押すと、緑色の縫製画面 (画面 B) が表示され、ペダル操作により縫製動作が開始されます。

参考 入力画面の詳細説明については、APW-895N 取扱説明書 "VI-3. 基本画面の説明" p.28 を参照してください。

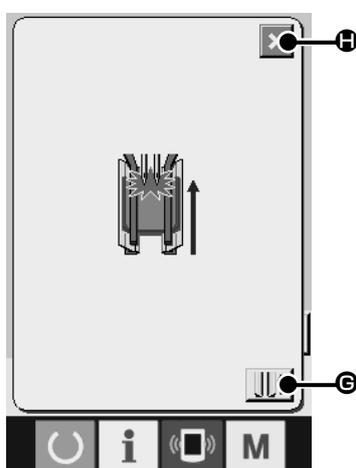


④ 動作途中で装置を停止させるには

縫製中に途中停止スイッチ **E** を押すと、装置を停止させることができます。



この時、エラー画面が表示され、停止スイッチが押されたことを知らせます。リセットボタン  **F** を押すと、エラーが解除され、入力画面に戻ります。



⑤ 長尺広幅仕様選択時に、ペダルを踏み返す

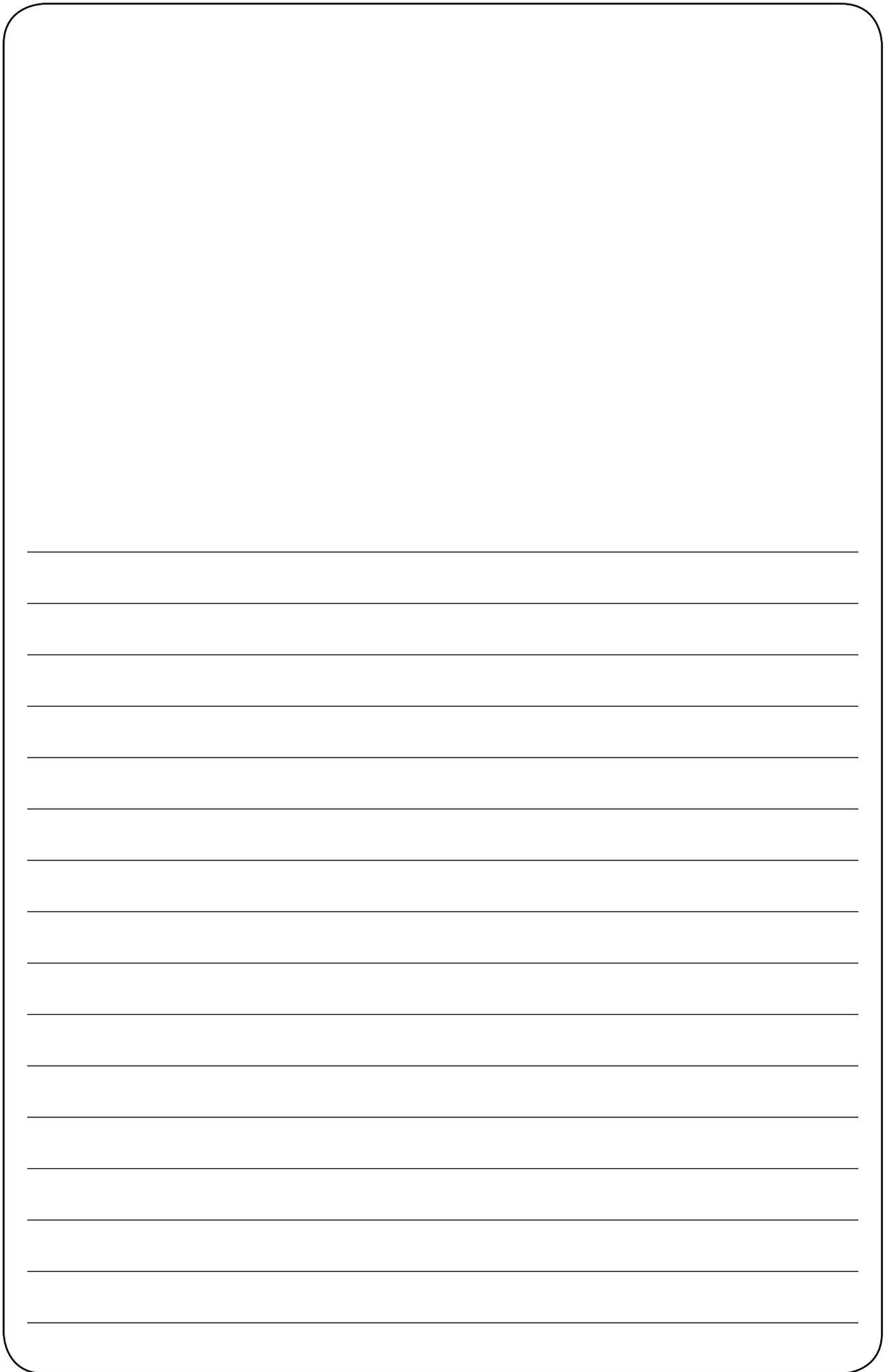
M004 長尺広幅仕様選択時、緑色の縫製画面（画面 B）において、ペダルを踏み返すと左記の確認画面が表示されます。ペダル踏み返しによる大押え後退時は、フラップ押えを閉じて後退するため、大押え上に生地が置かれている状態でないかを確認する画面です。「フラップ押えを閉じたまま後退します。大押え上の生地を取り除いてください」という確認メッセージが表示されます。

大押え上に生地が無い場合、大押え後退ボタン  **G** を押すと、フラップ押えを閉じたまま、大押えが後退します。同時に確認画面が解除され、縫製画面に戻ります。

大押え後退を取り消す場合、キャンセルボタン  **H** を押すと、フラップ押えが開き、大押えは後退しません。同時に確認画面が解除され、縫製画面に戻ります。



大押え上に生地がある場合は、必ずキャンセルボタン  **H** を押して生地を取り除いてください。その後、もう一度ペダルを踏み返して、大押えを後退させてください。



ENGLISH

ENGLISH

* "CompactFlash(TM)" is the registered trademark of SanDisk Corporation, U.S.A.

CONTENTS

I. PREPARATION OF THE SEWING MACHINE	1
1. HOW TO OPERATE THE SEWING MACHINE HEAD.....	1
(1) How to attach the needles	1
(2) Thread used.....	1
(3) How to pass the needle thread	2
2. HOW TO REMOVE THE SEWING TABLE.....	3
(1) When replacing the bobbin thread.....	3
(2) Cautions to be taken when the sewing tables are removed	4
3. HOW TO WIND THE BOBBINS	5
4. HOW TO THREAD THE BOBBIN CASE	6
5. HOW TO INSTALL THE BOBBIN CASE.....	6
6. HOW TO ADJUST THE THREAD TENSION	7
7. SETTING THE MATERIAL TO BE SEWN.....	8
8. ADJUSTING THE MATERIAL GUIDE	8
II. HOW TO USE THE OPERATION PANEL	9
1. BASIC OPERATION OF THE OPERATION PANEL (IP-420).....	9
(1) Configuration of IP-420	9
(2) Buttons used in common	10
(3) Basic operation	10

I. PREPARATION OF THE SEWING MACHINE

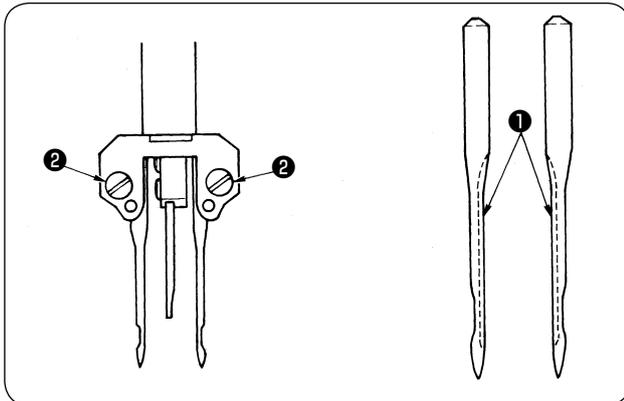
1. HOW TO OPERATE THE SEWING MACHINE HEAD

(1) How to attach the needles



CAUTION :

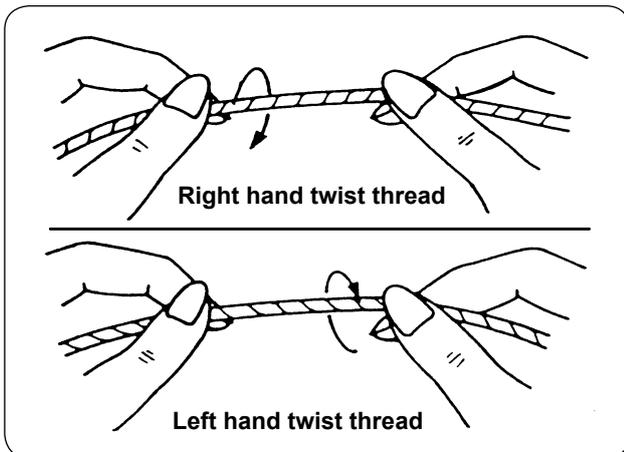
- Turn OFF the power before starting the work so as to prevent accidents caused by abrupt start of the sewing machine.
- When replacing the needle, be careful not to allow your fingers to touch the blade section of the center knife.



Needles used are DP X 17 #14 to #18 (standard #16). Use the specified needle.

Insert left- and right-hand sides needles as far as they will go pointing their long grooves ① at each other and tighten needle clamp screws ② .

(2) Thread used



- Use the left hand twist thread for the needle thread.
- Either twist thread will do for the bobbin thread.



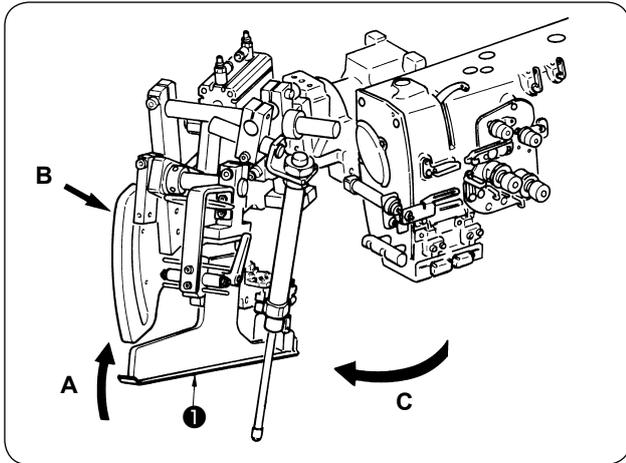
Use a new thread which is uniformly twisted.

(3) How to pass the needle thread



CAUTION :

Turn OFF the power before starting the work so as to prevent accidents caused by abrupt start of the sewing machine.



- ① Lift binder ❶ in the direction A, Hold section B by hand and turn the whole binder in the direction C.

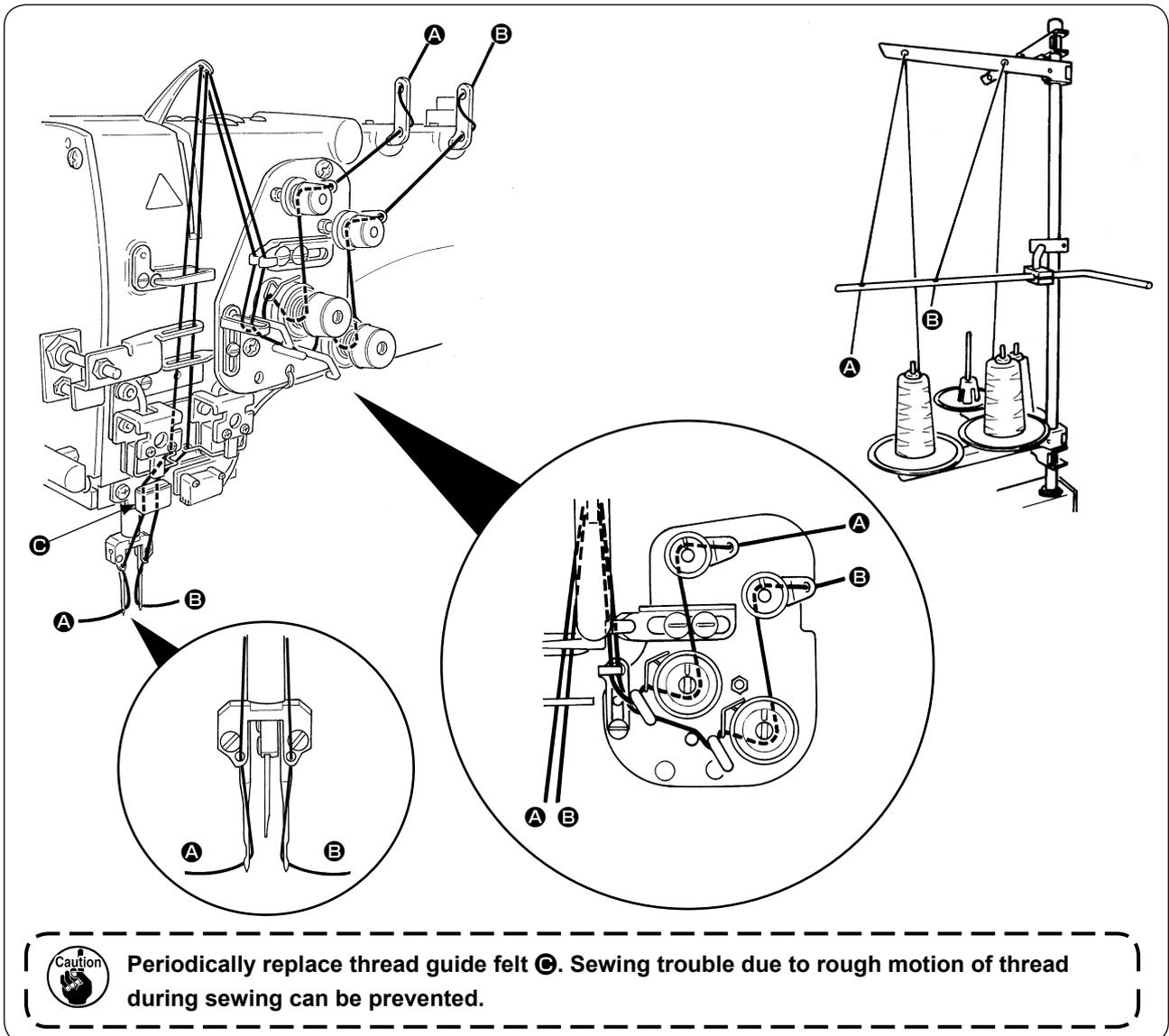


Be sure to press section B since welt-ing width may become improper when the binder is pressed and turned in the direction C.



Binder is locked with the ball plunger. Rather strongly turn the binder in the direction C to release the lock.

- ② Then pass needle thread in the order as shown in the figure below.



Periodically replace thread guide felt ❷. Sewing trouble due to rough motion of thread during sewing can be prevented.

Pass the needle thread in the illustrated order.

Left-hand side needle thread toward the sewing machine



Right-hand side needle thread toward the sewing machine



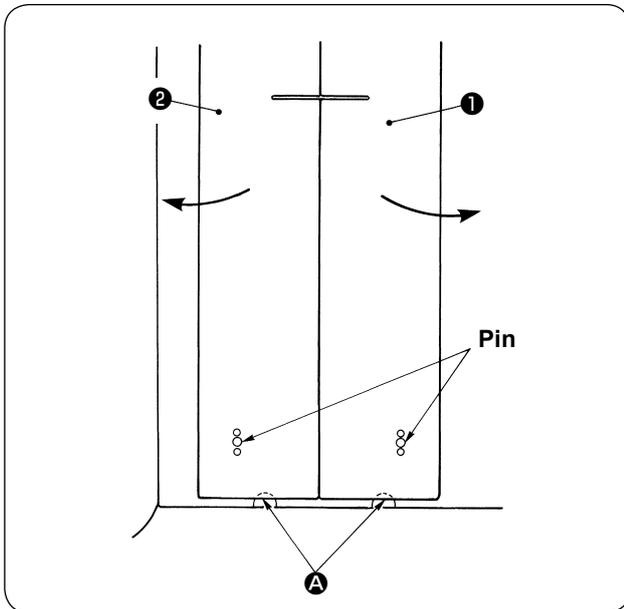
2. HOW TO REMOVE THE SEWING TABLE



CAUTION :

Turn OFF the power before starting the work so as to prevent accidents caused by abrupt start of the sewing machine.

(1) When replacing the bobbin thread



- ① Move the clamp foot to the rear end of its stroke.
- ② Insert your fingers into notches **A** in the bottom of right- and left-hand sewing tables **1** and **2**, and push up the sewing tables.
- ③ Move the tables in the direction of the arrow keeping the above state, and you can see the bobbin case.



At this time, move the sewing tables so as not to allow the sewing tables to come in contact with the needles.

- ④ After replacing the bobbin thread, return the sewing tables in place by following the above-mentioned steps of procedure in the reverse order. Now, firmly set the sewing tables on the throat plates and the pins.

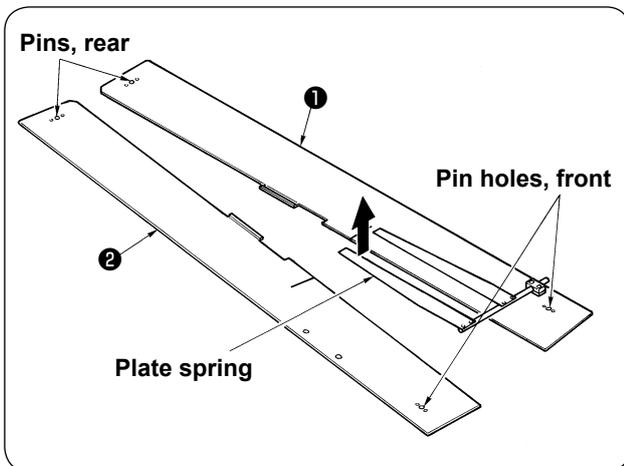
(2) Cautions to be taken when the sewing tables are removed



CAUTION :

Turn OFF the power before starting the work so as to prevent accidents caused by abrupt start of the sewing machine.

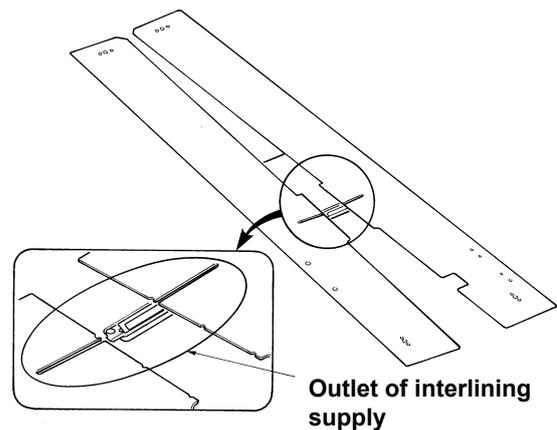
When you remove the sewing tables ① and ②, be sure to accurately set them by following the points below.



- ① Securely fit the pins, rear (left) (right) over the pin holes.
- ② Securely fit pin holes, front (left) (right) over the pins.

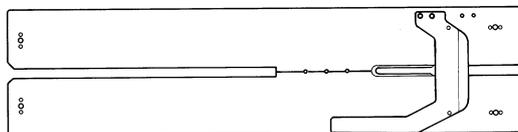


1. In case of the machine provided with SA-120 (automatic interlining supplying device), return the sewing tables ① and ② to their home positions while lifting the sewing tables so that the plate spring section is not bent.

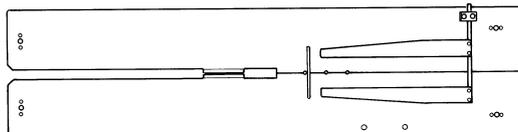


2. In case of removing the sewing tables ① and ② with the types below, take care not to bend pocket bag clamping device and interlining clamping device.

① Pocket bag clamping device (standard)



② Pocket bag clamping device (for interlining supply)

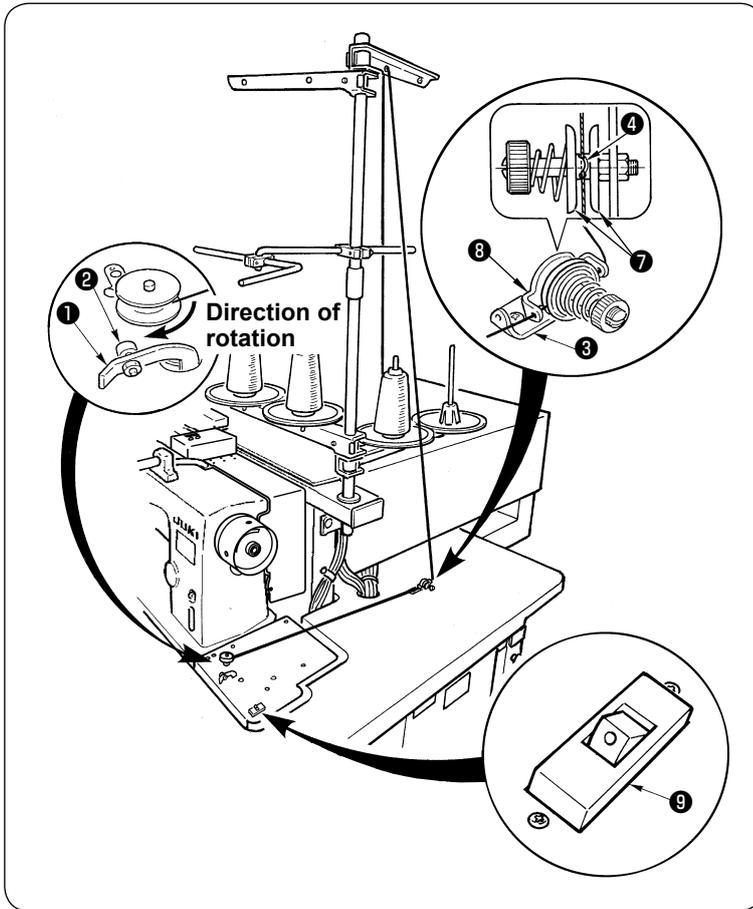


3. HOW TO WIND THE BOBBINS

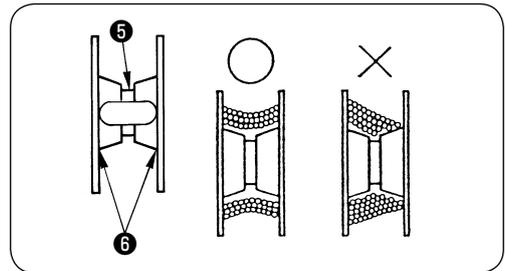


CAUTION :

To prevent damage, avoid contact with bobbins while the machine is in operation.



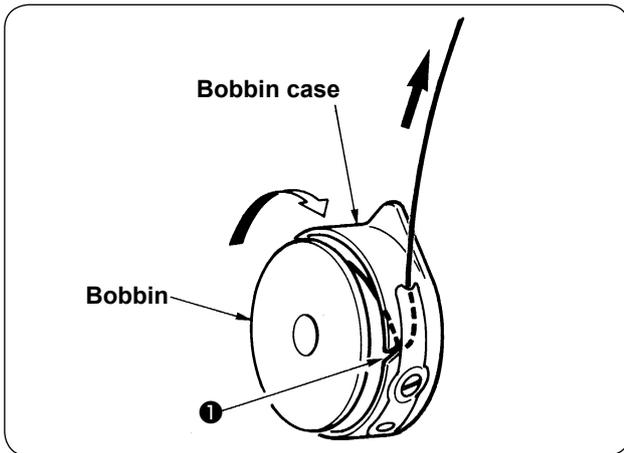
- ① Put bobbin into the thread winder shaft until it will go no further.
- ② Pass thread through thread guide plate ⑧ , open thread tension disk ⑦ and put the thread into the slit of thread tension rod ④ .
- ③ Pass thread in the order as shown in the figure, and wind the thread onto bobbin by four or five turns. (The direction of the arrow corresponds to the direction of rotation of the bobbin.)
- ④ Press bobbin thread guide ① and the bobbin rotates.
- ⑤ The thread winder will automatically stop as soon as it has wound up the bobbin to a predetermined amount.



1. If you want to wind a bobbin, start winding it from recess ⑤ as illustrated in the figure above. If you start to wind a bobbin from portion ⑥ , the detection of run-out of bobbin thread will fail to be performed normally.
2. To ensure the appropriate remaining amount of bobbin thread, it is important to wind the bobbin uniformly. Be sure to check that the bobbin is uniformly wound particularly at the start of bobbin winding.
If the bobbin fails to be uniformly wound with thread, properly adjust the lateral position of tension post socket ④ .
3. It is most suitable to wind the bobbin with thread to approximately 80% of the outer diameter of the bobbin. The winding amount can be adjusted with winding amount adjustment screw ② .
4. Do not press lever ① except when winding bobbin thread. Motor continues to run and trouble will be caused.
5. When abnormalities such as overload of the thread winding motor, etc. are detected, thermal switch ⑨ is shut off. When thermal switch is shut off, turn ON thermal switch ⑨ again after turning OFF it to return.



4. HOW TO THREAD THE BOBBIN CASE



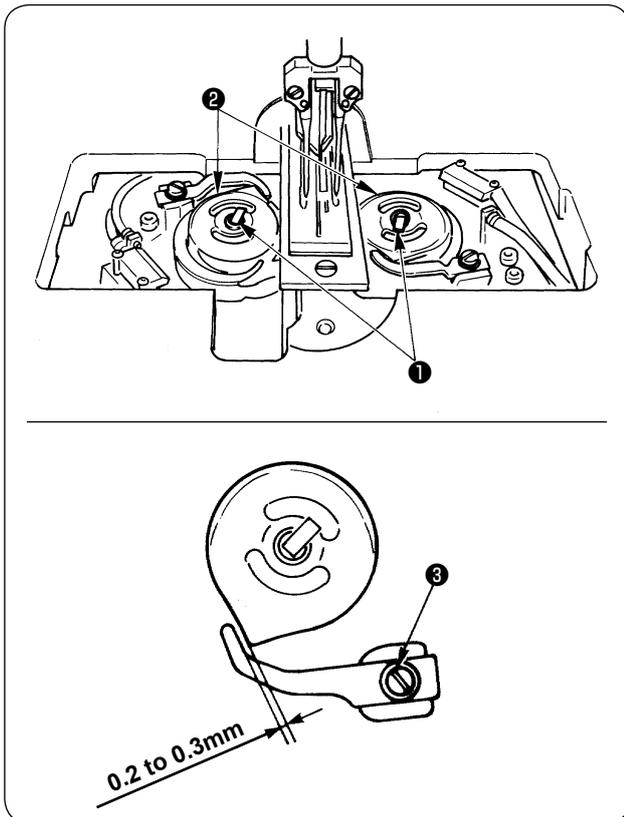
- ① Hold in hand a bobbin in the way that it spins clockwise and put it into the bobbin case.
- ② Pass the thread through slot ❶ in the bobbin case.
- ③ Pull the thread to pass it under the tension spring.

5. HOW TO INSTALL THE BOBBIN CASE



CAUTION :

Turn OFF the power before starting the work so as to prevent accident caused by abrupt start of the sewing machine.

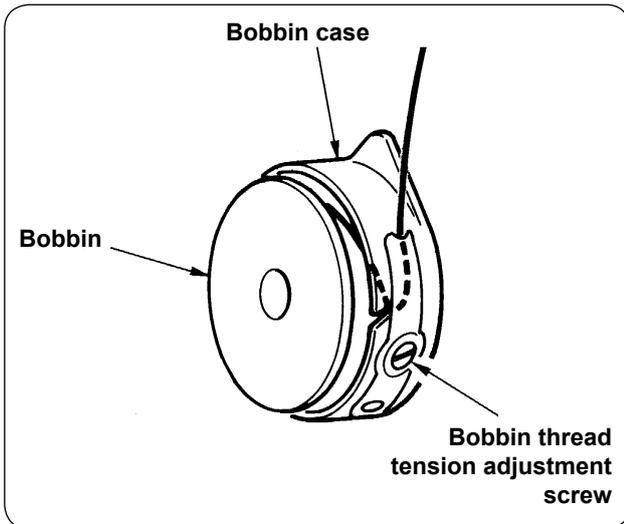


- ① Raise hook levers ❶ and take out the bobbin cases together with the bobbins.
- ② When fitting, fit the bobbin cases into the hook driving shaft and tilt levers ❶ .

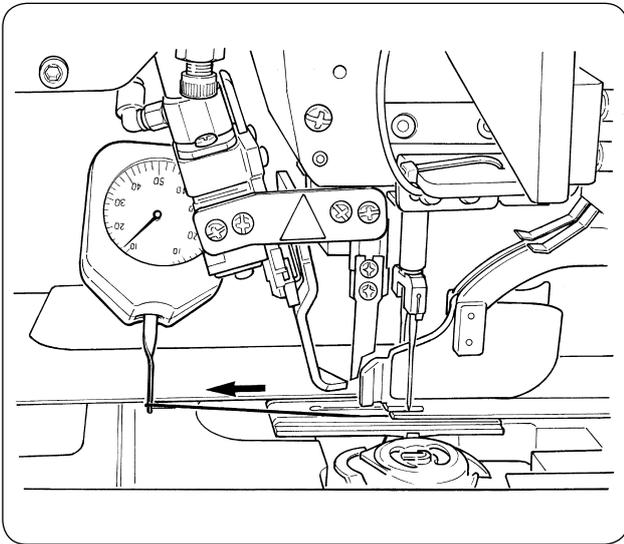


When bobbin cases, left and right, ❷ are replaced, make sure that the clearance between the opener which is extremely receded and the bobbin case is 0.2 to 0.3 mm. If the clearance is not 0.2 to 0.3 mm, loosen setscrew ❸ and adjust it.

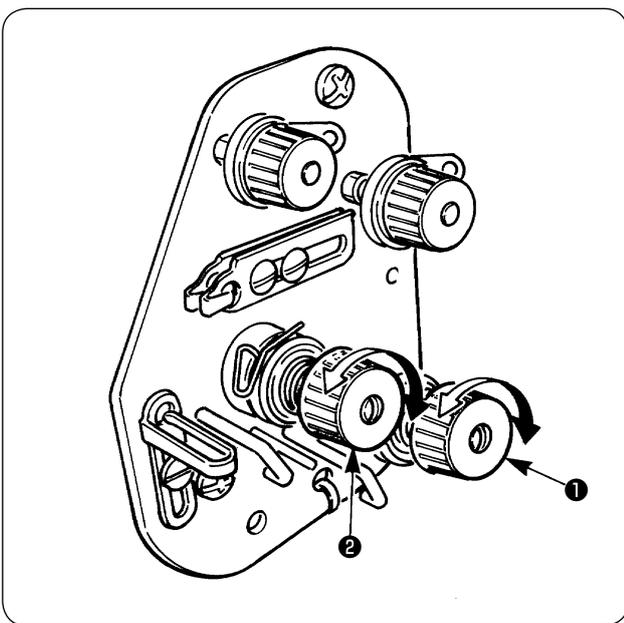
6. HOW TO ADJUST THE THREAD TENSION



- ① Adjusting bobbin thread tension
Turn bobbin thread tension adjustment screw clockwise to increase the bobbin thread tension or turn the screw counterclockwise to decrease it.

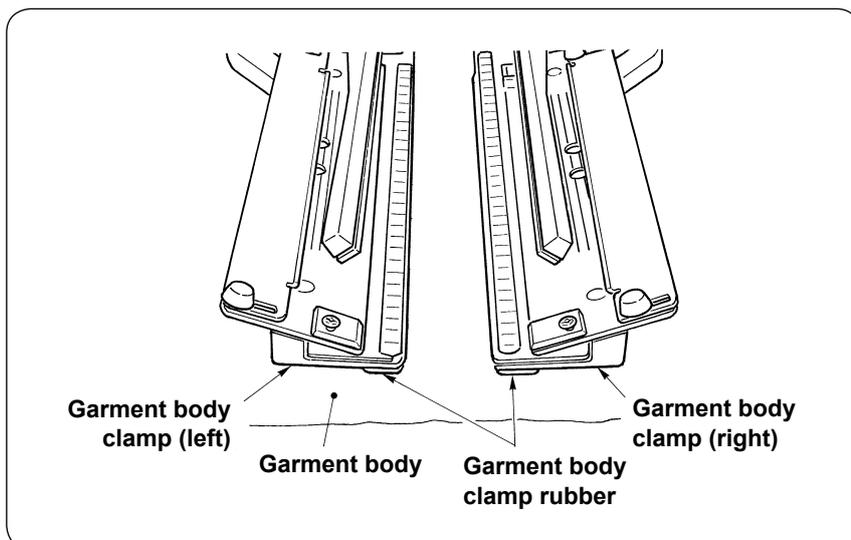


As shown in the left-hand figure, standard bobbin thread tension is 0.25 to 0.35N when measuring with the tension gauge.



- ② Adjusting needle thread tension
First, adjust the right- and left-hand's bobbin thread tension.
Then in accordance with the bobbin thread tension obtained, adjust the right- and left-hand sides needle threads tension appropriately by turning thread tension adjustments nuts ① and ② respectively. Turning the nuts clockwise will increase the thread tension or turning them counterclockwise to decrease it.

7. SETTING THE MATERIAL TO BE SEWN

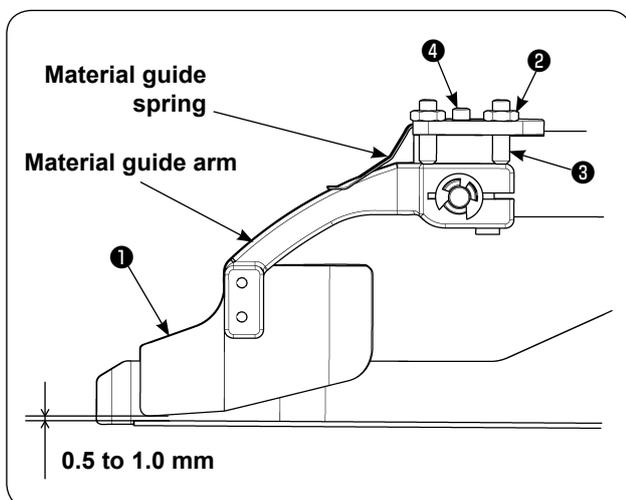


Use a garment body that is larger than the garment body clamp rubber piece adhered under the right and left garment body clamps. If a garment body of which size is smaller than the garment body clamp rubber piece, the rubber piece can come off or the machine can malfunction. If it is necessary to use a small material, mount a shim type gauge (optional) on the machine.

8. ADJUSTING THE MATERIAL GUIDE

Material guide functions to stabilize the welt patch at the edge of the machine needle.

Adjust the height and the presser pressure of material guide ① in accordance with the thickness of material.

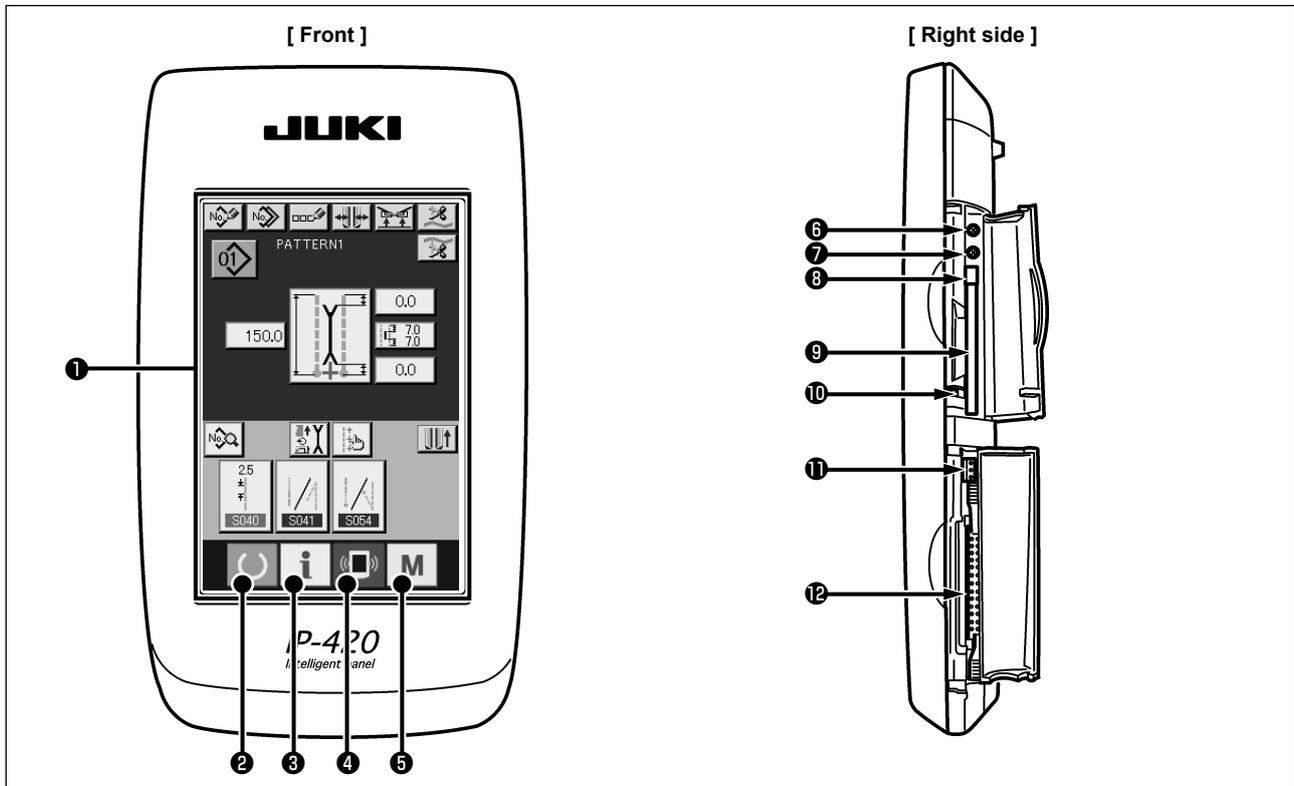


- ① The height of material guide can be adjusted by loosening nut ② and screw ③ .
(Clearance between material guide and welt patch scale has been adjusted to 0.5 to 1.0 mm at the time of delivery.)
- ② Presser pressure can be adjusted with spring pressure adjust screw ④ .
(Adjust the pressure so that there is no excessive resistance when the material passes.)

II. HOW TO USE THE OPERATION PANEL

1. BASIC OPERATION OF THE OPERATION PANEL (IP-420)

(1) Configuration of IP-420



Symbol	Name	Description
①	TOUCH PANEL, LCD display section	
②	 READY key	Change-over of the data input screen and the sewing screen is performed.
③	 INFORMATION key	Change-over of the data input screen and the information screen is performed.
④	 COMMUNICATION key	Change-over of the data input screen and the communication screen is performed.
⑤	 MODE CHANGEOVER key	Change-over of the data input screen and the mode change-over screen which performs various details setting.
⑥	Contrast control	
⑦	Brightness control	
⑧	CompactFlash (TM) eject button	
⑨	CompactFlash (TM) slot	
⑩	Cover detection switch	
⑪	Connector for external switch	
⑫	Connector for control-box connection	



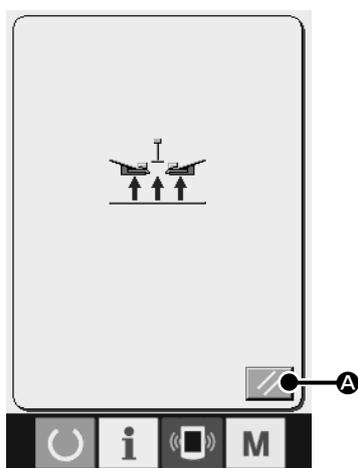
- Lightly press the target key on the touch panel with a fingertip to operate the IP-420. If you operate with any means other than your fingertip, the IP-420 can malfunction or the glass surface of the touch panel can be scratched or break.
- When READY key is pressed first after turning ON the power, origin retrieval of the clamp foot is performed. At this time, the clamp foot moves. So, be careful.

(2) Buttons used in common

Buttons that perform common operation in the respective screens of IP-420 are as described below.

Pictograph	Name	Description
	CANCEL button	Pop-up screen is closed. In case of the data change screen, the data during changing can be cancelled.
	ENTER button	Data changed are determined.
	UP SCROLL button	This button scrolls button or display upward.
	DOWN SCROLL button	This button scrolls button or display downward.
	RESET button	This button releases error and the like.
	NUMBER INPUT button	Ten keys are displayed and input of number can be performed.
	CHARACTER INPUT button	Character input screen is displayed.

(3) Basic operation



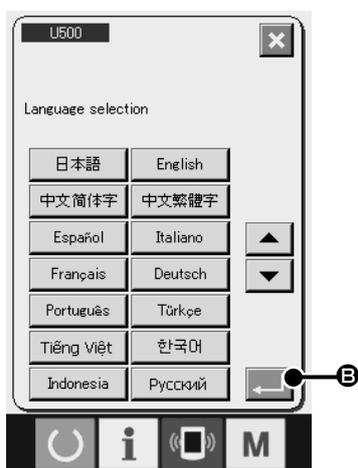
① Turn ON the power switch.

First, turn ON the power switch.

Reset pop-up screen is displayed after displaying WELCOME screen. Press RESET button  **A**.



When RESET button is pressed, the binder goes up. So, be careful.

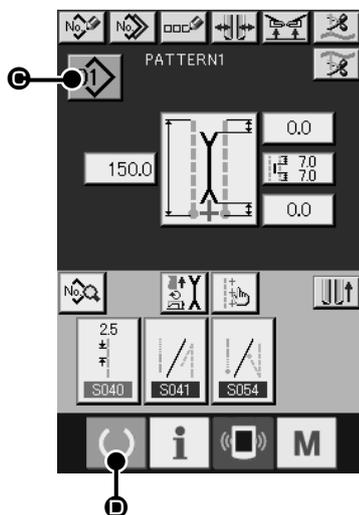


Next, language selection pop-up screen is displayed. After selecting the language you desire to display, press ENTER button .

B. Then the independent sewing input screen (screen A) of the figure below is displayed.



When ending the selection screen with CANCEL button  or ENTER button  without performing the language selection, the language selection screen is displayed whenever the power is turned ON.



The independent sewing input screen (screen A)

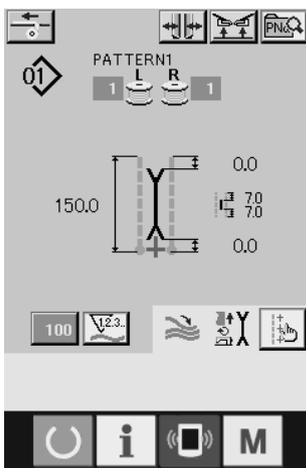
② **Select pattern No. you desire to sew.**

When PATTERN NO. button  is pressed, the pattern No. can be selected. For the selecting procedure of pattern No., refer to "VI-7.(1) Performing the selection of pattern" p. 42 of APW-895N Instruction Manual .

At the time of your purchase, pattern Nos. 1 to 10 have been registered. Change the sewing data in accordance with the sewing types for use. (The number to which the pattern has not been registered is not displayed.)



For the detailed explanation of input screen, refer to "VI-3. EXPLANATION OF THE BASIC SCREEN" p. 28 of APW-895N Instruction Manual .



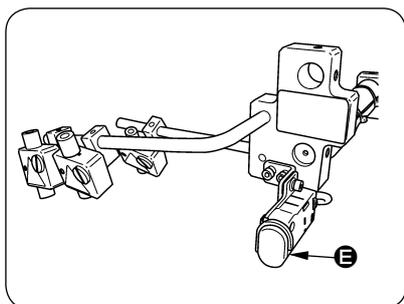
Sewing screen (screen B)

③ **Start sewing**

When READY key  is pressed in the independent sewing input screen (screen A), the green sewing screen (screen B) is displayed and the sewing operation is started by the pedal operation.

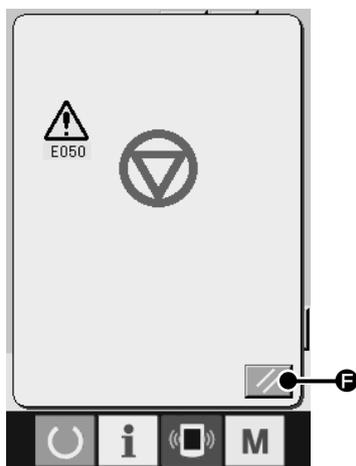


For the detailed explanation of input screen, refer to "VI-3. EXPLANATION OF THE BASIC SCREEN" p. 28 of APW-895N Instruction Manual .

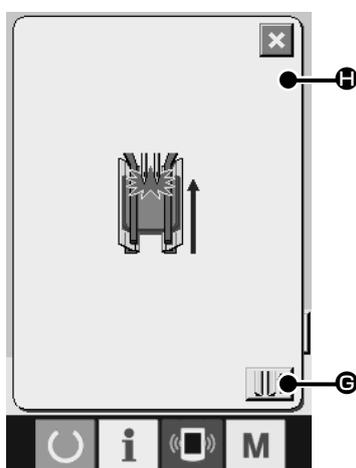


④ **To stop the device during operation**

When temporary stop switch  is pressed during sewing, the device can be stopped.



At this time, the error screen is displayed to inform that stop switch is pressed. When RESET button  **F** is pressed, the error is released and the screen returns to the input screen.



⑤ **Depress back the pedal at the time of selection of the long and wide type.**

At the time of selection of **M004** the long and wide type, when depressing back the pedal in the green sewing screen (screen B), the confirmation screen as shown on the left side is displayed. When the clamp foot moves to the back by depressing back the pedal, it retreats with the flap presser closed. This screen is to confirm whether material is put on the clamp foot.

Confirming message saying that "Clamp foot moves to the back with flap presser closed. Remove material on the clamp foot" is displayed.

When there is no material on the clamp foot, press CLAMP FOOT BACK button  **G** and the clamp foot moves to the back with the flap presser closed. At the same time, the confirming screen is released and the screen returns to the sewing screen.

When canceling clamp foot back, press CANCEL button  **H**, and the flap presser is opened. Then the clamp foot does not move to the back. At the same time, the confirming screen is released and the screen returns to the sewing screen.



When there is material on the clamp foot, be sure to press CANCEL button  **H and remove the material.**

Then depress back the pedal again to move the clamp foot to the back.



中文

* 「CompactFlash(TM)」是美国 SanDisk 公司的注册商标。

目 录

I. 缝纫机的准备.....	1
1. 缝纫机机头的使用.....	1
(1) 机针的安装方法.....	1
(2) 使用机线.....	1
(3) 上线的穿线方法.....	2
2. 缝制机台的拆卸方法.....	3
(1) 更换底线时.....	3
(2) 卸下了缝制机台后的注意事项.....	4
3. 底线的卷绕方法.....	5
4. 梭壳的穿线方法.....	6
5. 梭壳的安装.....	6
6. 线张力器的取下方法.....	7
7. 缝制布料的安放.....	8
8. 布料导向器的调整.....	8
II. 操作盘的使用方法.....	9
1. 操作盘 (IP-420) 的基本操作.....	9
(1) IP-420 各部的名称.....	9
(2) 通用的按钮.....	10
(3) 基本操作.....	10

1. 缝纫机的准备

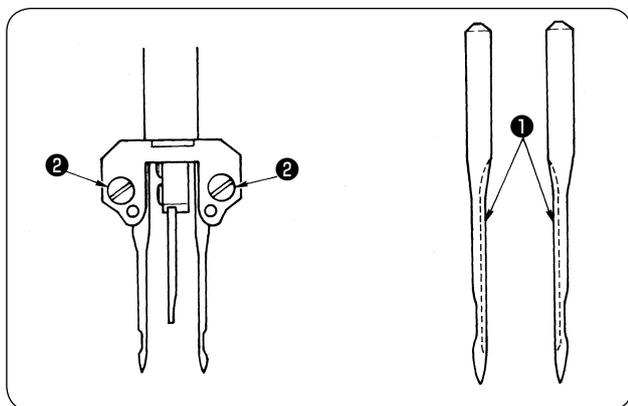
1. 缝纫机机头的使用

(1) 机针的安装方法



注意

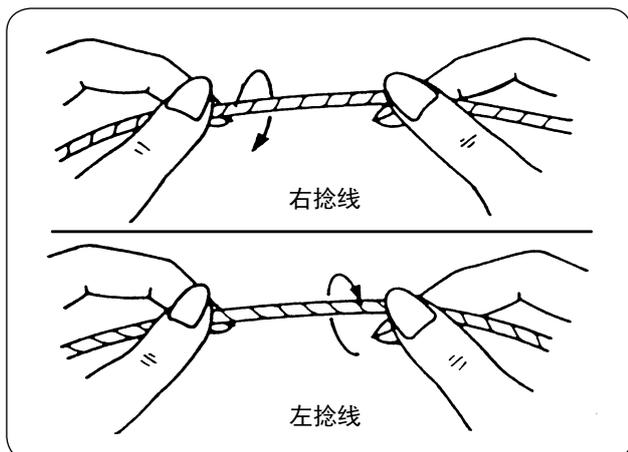
- 为了防止突然的起动造成事故，请关掉电源之后再进行操作。
- 更换机针时，请注意手指不要碰到中心刀的刀刃。



使用机针是 DP×17 #14 ~ 18 (标准 #16)。请使用指定的机针。

左右机针均让长槽①朝向内侧，并插入到顶到机针安装孔的最里面，然后请用机针固定螺丝②拧紧固定。

(2) 使用机线



- 上线请使用左捻线。
- 底线左捻线和右捻线均可以使用。



使用的机线，请使用拧得整齐的新线。

(3) 上线的穿线方法



注意

为了防止突然的起动造成事故，请关掉电源之后再进行操作。

① 向 A 方向拿起滚边器①之后，再用手托着 B 部，让整个滚边器向 C 方向旋转。



按滚边器，向 C 方向旋转之后，有可能袋盖宽度发生变动，因此请一定按 B 部。



滚边器被球塞锁定着，用力向 C 方向转动就可以解除锁定。

② 然后，请按照下图所示的顺序穿上线。



请定期地更换线导线毛毡 C。可以防止缝制中由于机线乱跳而发生的缝制不良。

请按照图中所示的顺序穿上线。
 面向缝纫机时左侧的机线 → A
 面向缝纫机时右侧的机线 → B

中文

- 2 -

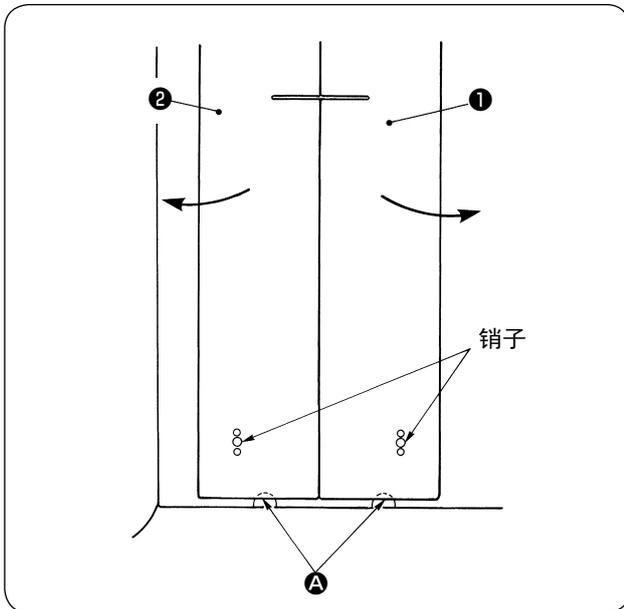
2. 缝制机台的拆卸方法



注意

为了防止突然的起动造成事故，请关掉电源之后再进行操作。

(1) 更换底线时



- ① 请把大压脚移动到后退端。
- ② 用手指从机台侧面缺口 **A** 抬起左、右缝制机台 **1**、**2**。
- ③ 在此状态下，向箭头方向移动之后就可以看到梭壳。



此时，请注意移动时不要让缝制机台碰到机针。

- ④ 更换了底线之后，请按照相反的顺序把缝制机台确实地安放到针板和销子上。

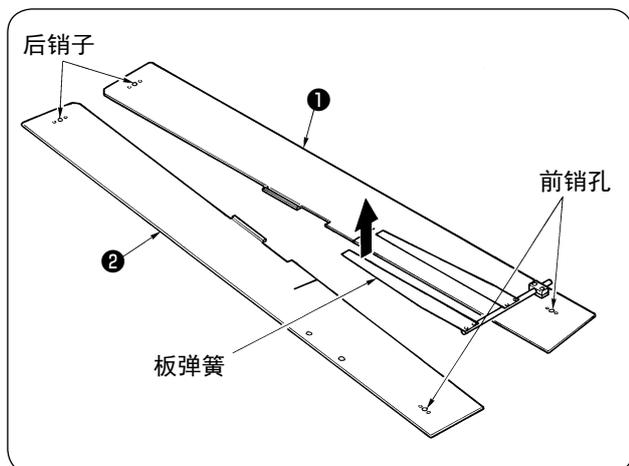
(2) 卸下了缝制机台后的注意事项



注意

为了防止突然的起动造成事故，请关掉电源之后再进行操作。

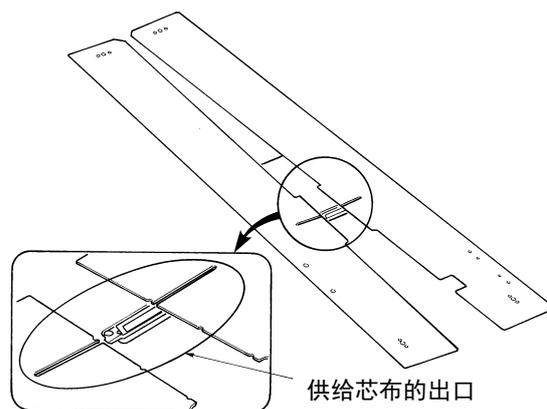
卸下了缝制机台①、②后，请按照以下的要领确实地安装。



- ① 把后销子（左）（右）确实地安装到销孔。
- ② 把前销孔（左）（右）确实地安装到销子上。

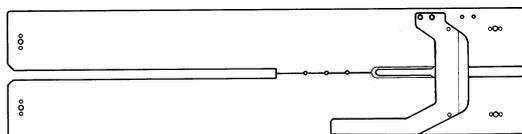


1. 对于带有 SA-120（芯布自动供给装置）的缝纫机，请注意不要让板弹簧弯曲向上抬起，把缝制机台①、②返回到原来的位置。

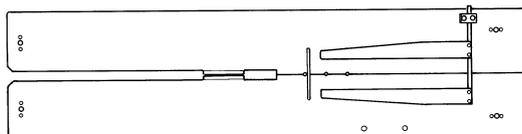


2. 对于以下的规格拆卸缝制机台①、②时，请注意不要弄弯袋布压脚和芯布压脚。

① 袋布压脚（标准）



② 袋布压脚（供给芯布用）

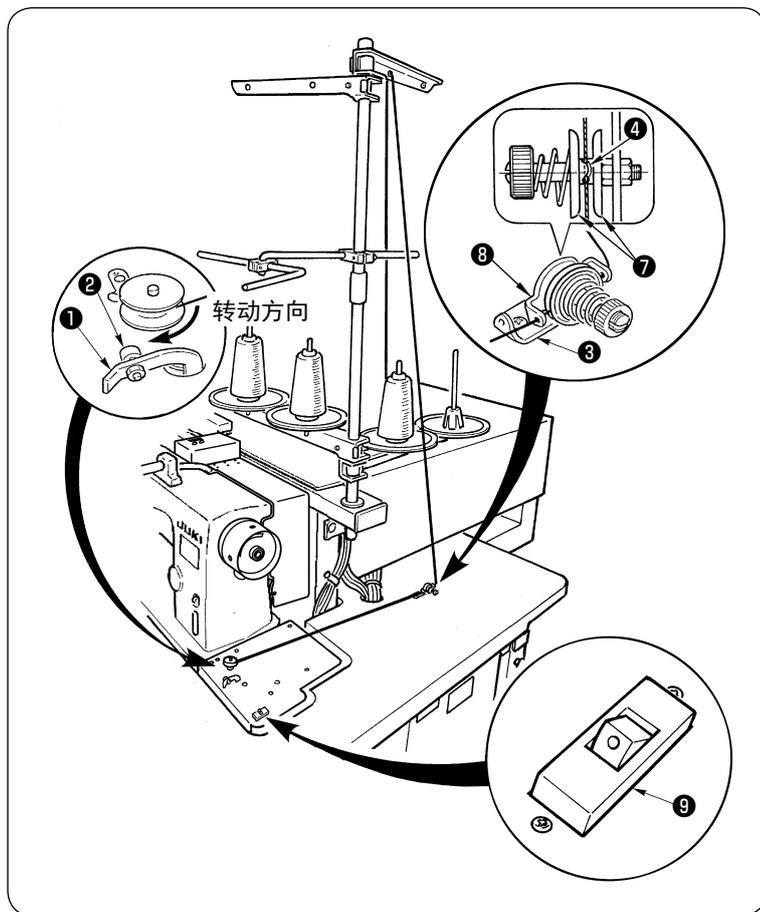


3. 底线的卷绕方法

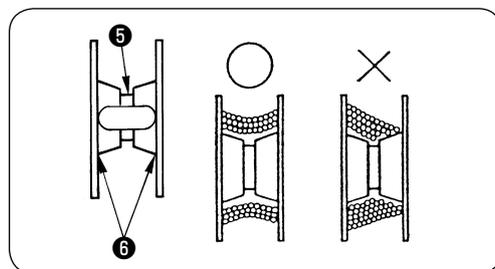


注意

为了防止受伤，运转中请不要触摸。



- ① 把旋梭插入到绕线轴的最里面。
- ② 把机线穿过导线板⑧，打开线张力盘⑦，然后放入线张力杆④的狭条里。
- ③ 按照图的顺序穿线，并在旋梭上卷绕4~5圈。（箭头方向是旋梭转动方向。）
- ④ 按了旋梭导线器①之后，旋梭转动。
- ⑤ 卷绕完规定量的线之后，自动停止绕线。

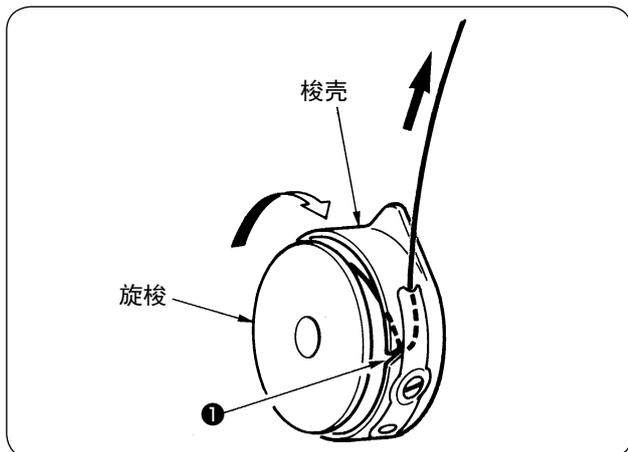


1. 开始向旋梭卷绕线时，请从上图所示的槽⑤开始卷绕。从⑥开始卷绕后，底线用完的检测有可能发生误动作。
2. 为了稳定地确保底线的残量，旋梭上的线必须均匀地卷绕。特别是要注意开始卷绕的部分。如果线卷绕得不均匀的话，请调整线张力座③的左右位置。
3. 底线最适合的卷绕量是卷绕旋梭外径的80%左右。可以用卷绕量调节螺丝②调节卷绕量。
4. 不卷绕机线时请不要按拨杆①。有可能会发生马达转动不止的故障。
5. 检测到卷线马达有超负荷等的异常之后，热敏开关⑨被断开。热敏开关⑨被断开后，请把热敏开关⑨设定为OFF，然后再次设定为ON热敏开关就可以恢复正常。



注意

4. 梭壳的穿线方法



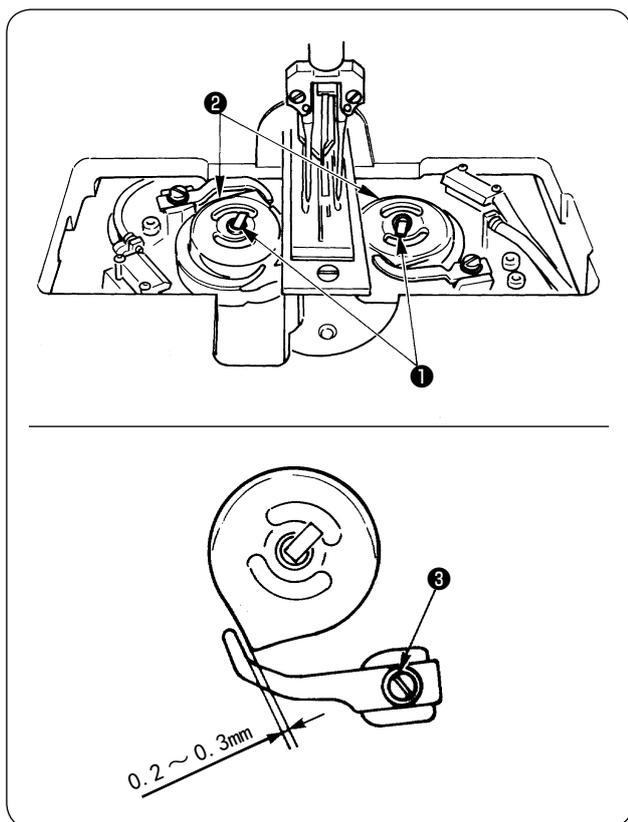
- ① 手拿旋梭，在线右卷的状态下放入梭壳里。
- ② 把线放入梭壳穿线槽①。
- ③ 然后把线从线张力弹簧下面穿过。

5. 梭壳的安装



注意

为了防止突然的起动造成事故，请关掉电源之后再进行操作。

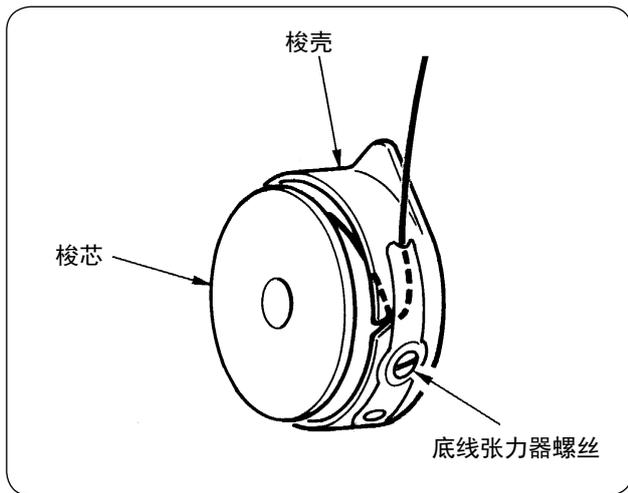


- ① 请拔起旋梭拨杆①，把梭壳和旋梭一起取出来。
- ② 放入时，请正确地插入旋梭轴，然后放倒拨杆①。

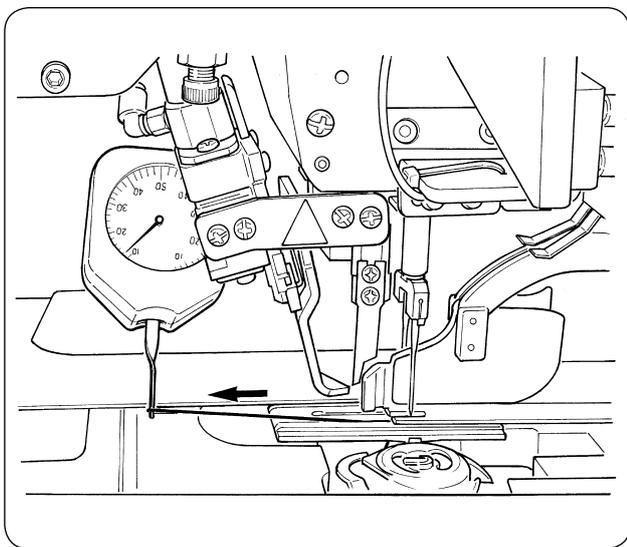


左右更换梭壳②时，请一定确认开放器在最后退位置时和梭壳的间隙量是否为 0.2 ~ 0.3mm。如果间隙量不是 0.2 ~ 0.3mm 的话，请拧松固定螺丝③进行调整。

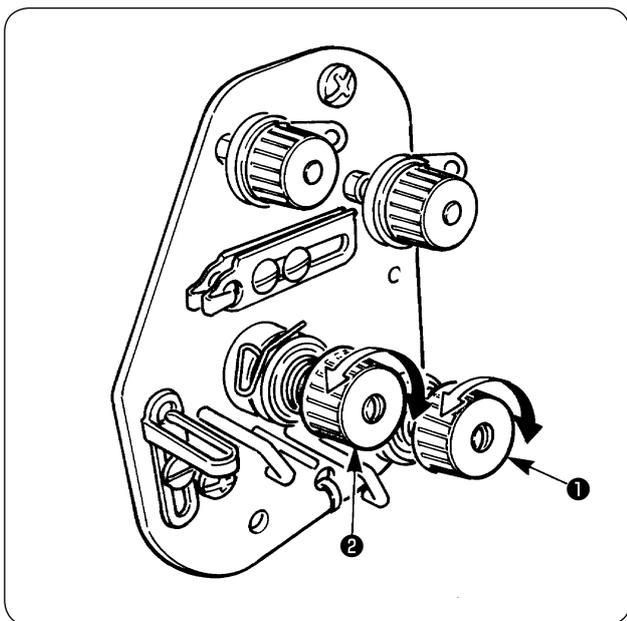
6. 线张力器的取下方法



- ① 底线张力的调整
向右转动底线张力器螺丝张力变强，向左转动则张力变弱。

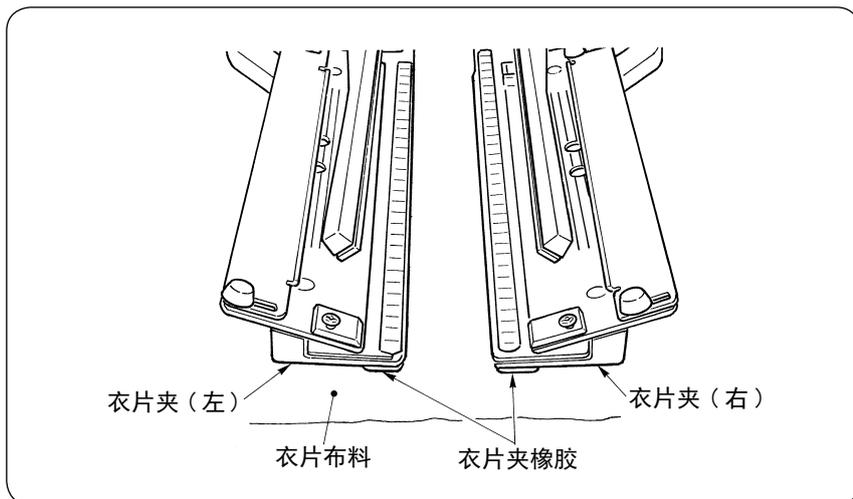


如左图所示那样，使用张力计进行测定时，底线的标准张力应为 $0.25 \sim 0.35\text{N}$ 。



- ② 上线张力的调整
首先调整右、左的底线张力。
根据右、左的底线张力，需要调整时右线张力器调整线张力器螺母①，左线张力器调整线张力器螺母②。向右转动线张力变强，向左转动则线张力变弱。

7. 缝制布料的安放



缝制的衣片布料请根据左右衣片夹下的衣片夹橡胶的大小，使用较大的布料。

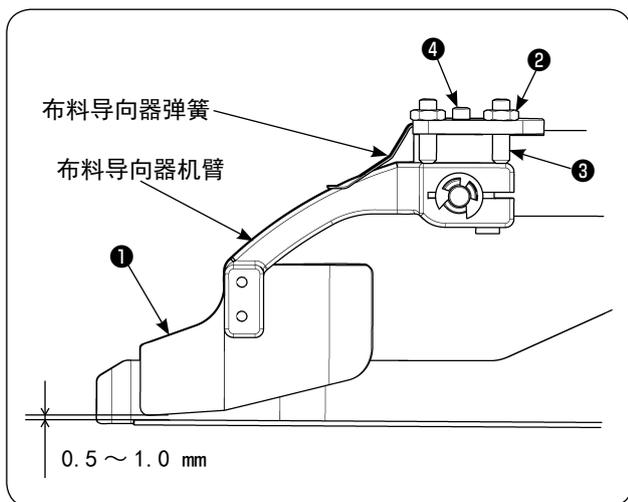
用比衣片夹小的布料缝制的话，会发生橡胶脱落的故障。

缝制小布料时，请安装衬板规格（选购品）。

8. 布料导向器的调整

布料导向器具有缝制袋盖布时稳定缝纫机机针的作用。

请根据布料的厚度，调整布料导向器①的高度和压脚压力。



① 拧松螺母②，然后用螺丝③调整布料导向器的高度。

（有关布料导向器和袋布直尺的间隙，出货时调整为 0.5 ~ 1.0mm）

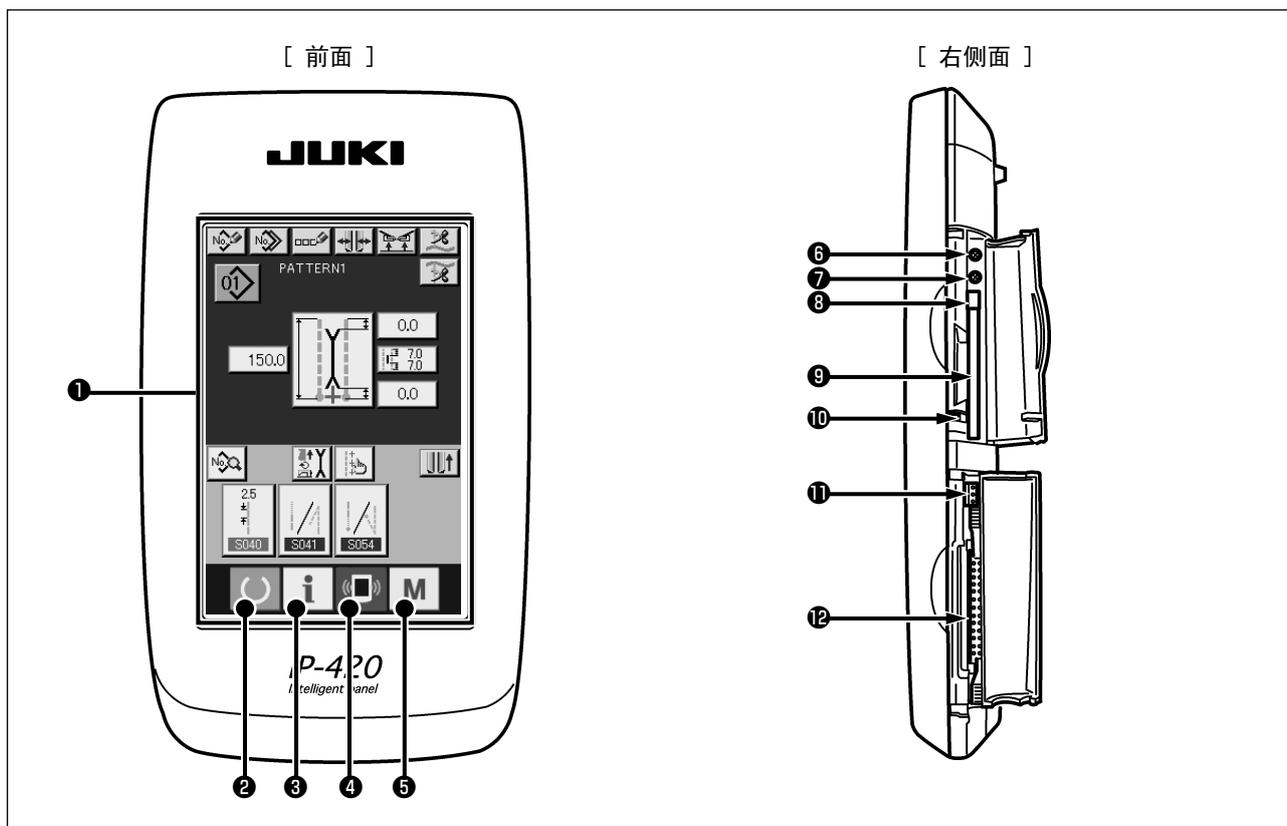
② 压脚压力可以用弹簧压力调整螺丝④进行调整。

（请调整成布料通过时没有阻挡阻力）

II. 操作盘的使用方法

1. 操作盘 (IP-420) 的基本操作

(1) IP-420 各部的名称



符号	名称	说明
①	触摸操作盘液晶显示部	
②	 准备完了键	进行数据输入画面和缝制画面的变换。
③	 信息键	进行数据输入画面和信息画面的变换。
④	 通讯键	进行数据输入画面和通讯画面的变换。
⑤	 模式变换键	进行数据输入画面和进行各种详细设定画面的模式变换画面的变换。
⑥	对比度调节旋钮	
⑦	亮度调节旋钮	
⑧	CompactFlash(TM) 取出按键	
⑨	CompactFlash(TM) 插口	
⑩	盖子检测开关	
⑪	外部开关输入用连接器	
⑫	电气机器连接用连接器	



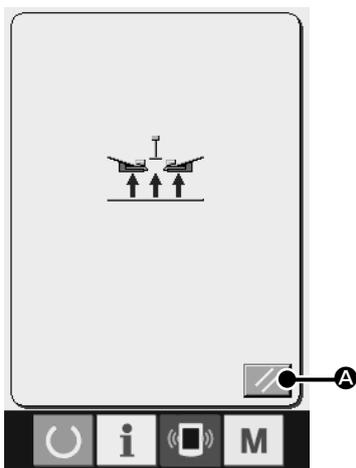
- 操作触摸操作盘时，请用指尖按画面。用手指以外操作的话，有发生误动作或对画面表面的玻璃造成损伤的危险。
- 打开电源后，第一次按下准备完了键时，进行大压角马达的原点检索。此时，大压脚可以移动，请注意。

(2) 通用的按钮

在 IP-420 的各画面上通用操作的按钮如下所示。

图标	名称	说明
	取消按钮	关闭凸起画面。 变更数据画面时，取消变更中的数据。
	确定按钮	确定变更的数据。
	上滚动按钮	向上方滚动按钮或显示。
	下滚动按钮	向下方滚动按钮或显示。
	复位按钮	解除异常错误等。
	数字输入按钮	显示十数字键，可以进行数字的输入。
	文字输入按钮	显示文字输入画面。

(3) 基本操作



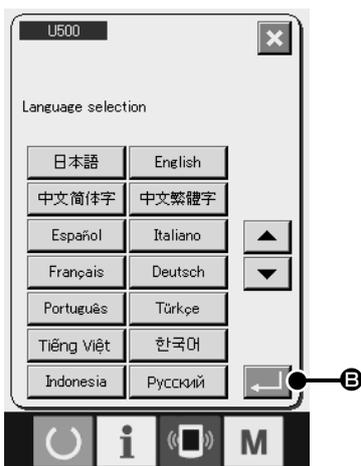
① 打开电源开关

请首先打开电源开关。

欢迎画面显示后，复位凸起画面显示出来。请按复位按钮



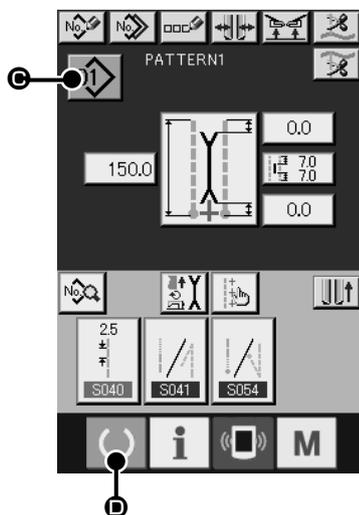
按了复位按钮之后，滚边器上升，因此请注意安全。



接着，语言选择凸起画面被显示。选择了想显示的语言，按确定按钮  **B** 之后，下图的单独缝制输入画面（画面 A）被显示。



不选择语言用取消按钮  或确定（回车）按钮  结束选择画面的话，每次打开电源之后均会显示语言选择画面。



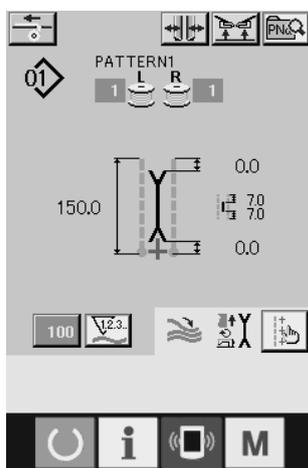
单独缝制输入画面（画面 A）

② 选择想缝制的图案 No.

按了图案 No. 按钮 **01** **C** 之后，可以选择图案 No.。有关图案 No. 的选择方法，请参阅 APW-895N 使用说明书 "VI-7. (1) 选择图案时" p. 42。

购买时，图案 No. 1 ~ 10 被登记着，因此请根据缝制规格的情况变更缝制数据之后使用。（没有登记的图案号码不显示。）

 有关本画面的详细说明，请参阅 APW-895N 使用说明书 "VI-3. 基本画面的说明" p. 28。

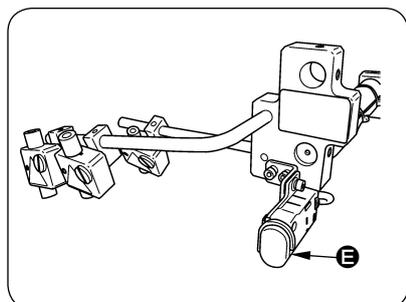


缝制画面（画面 B）

③ 开始缝制

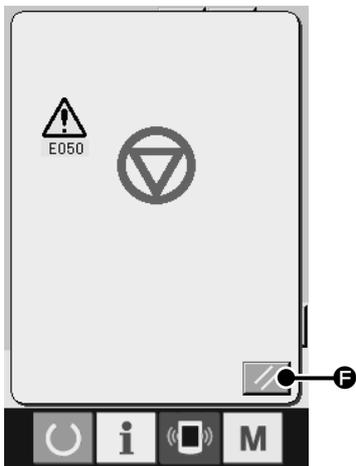
在单独缝制输入画面（画面 A）按了准备完了键  **D** 之后，绿色的缝制画面（画面 B）被显示出来，一踩踏板就可以开始缝制。

 有关本画面的详细说明，请参阅 APW-895N 使用说明书 "VI-3. 基本画面的说明" p. 28。

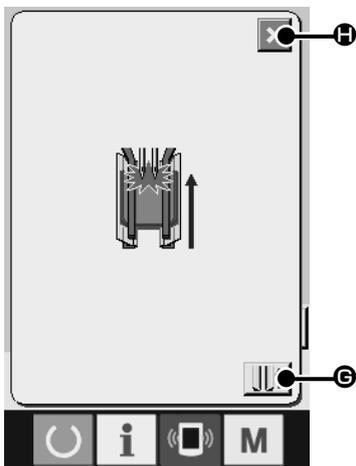


④ 操作中途中止装置时

缝制中按了中途停止开关 **E** 之后，可以让装置停止。



此时，错误画面被显示出来，通知停止开关被按。按了复位按钮  **F** 之后，错误被解除，然后返回到输入画面。



⑤ 选择长尺寸宽幅规格时，回踩踏板

选择 **M004** 长尺寸宽幅规格时，在绿色的缝制画面（画面B）上，回踩踏板之后，左侧的确认画面被显示出来。

回踩踏板让大压脚后退时，为了关闭袋盖压脚进行后退，确认在大压脚上是否防止了布料的画面。

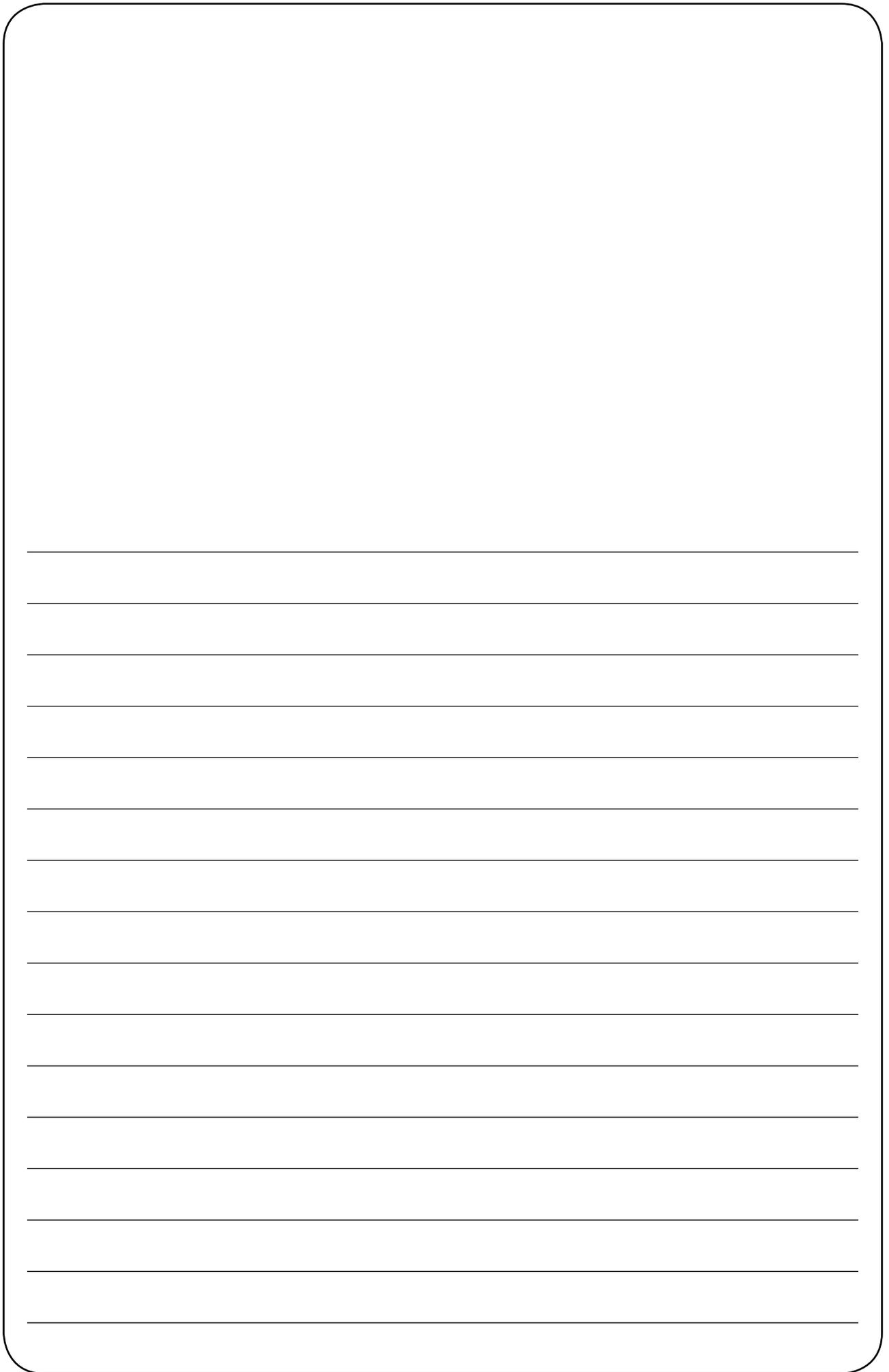
「关闭袋盖压脚的状态下进行后退。请取下大压脚上的布料」的确认信息被显示出来。

在大压脚上有布料时，请一定按取消按钮  **G**，然后取下布料。之后，请再次回踩踏板，让大压脚后退。

取消大压脚后退时，按了取消按钮  **H** 之后，袋盖压脚打开，大压脚就不后退了。同时，确认画面被解除，返回缝制画面。



大压脚上没有布料时，按了大压脚后退按钮  **H** 之后，关闭袋盖压脚，大压脚后退。同时，确认画面被解除，返回到缝制画面。



JUKI®

JUKI 株式会社

縫製機器ユニット

〒 206-8551 東京都多摩市鶴牧 2-11-1

TEL. 042-357-2371 (ダイヤルイン)

FAX. 042-357-2274

<http://www.juki.co.jp>

JUKI CORPORATION

SEWING MACHINERY BUSINESS UNIT

2-11-1, TSURUMAKI, TAMA-SHI,

TOKYO, 206-8551, JAPAN

PHONE : (81)42-357-2371

FAX : (81)42-357-2274

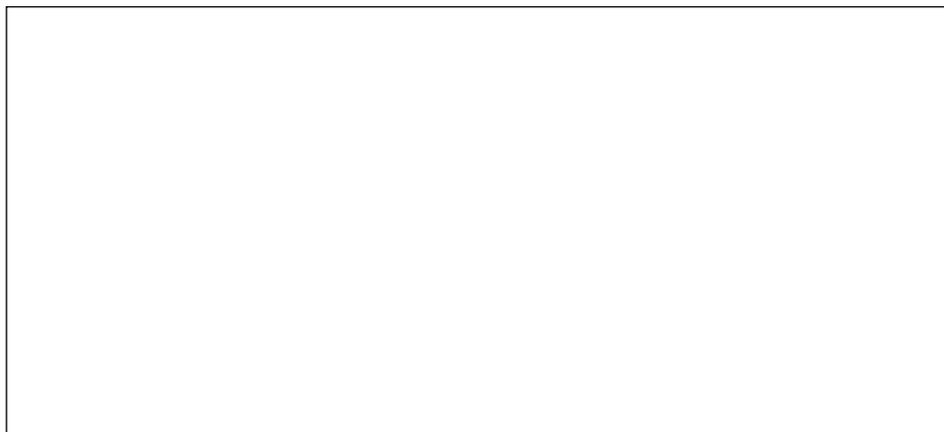
<http://www.juki.com>

Copyright © 2014 JUKI CORPORATION

• 本書の内容を無断で転載、複写することを禁止します。

• All rights reserved throughout the world.

• 版权所有，严禁擅自转载、翻印本书的内容。



この製品の使い方について不明な点がありましたら、お求めの販売店又は当社営業所にお問い合わせください。

※ この取扱説明書は、仕様改良のため予告なく変更することがあります。

Please do not hesitate to contact our distributors or agents in your area for further information when necessary.

* The description covered in this instruction manual is subject to change for improvement of the commodity without notice.

对本产品如有不明之处，请向代理店或本公司营业部门询问。

※ 本使用说明书中的规格因改良而发生变更，请订货时确认。